

AsahiKASEI
旭化成ホームズ



このアパート経営の決断は
老後の安定収入と、
安心の相続対策になる。

土地オーナーS氏が、自分と子供達のために選んだのは、
旭化成の「30年一括借上げ」お任せ賃貸経営、
という相続対策だった。

「子供達に、苦労は相続させたくないからね」。今年1月から新税制が施行され、実質増税となった相続税。その対策にS氏が選択したのは、旭化成ヘーベルプラザの専門スタッフの提案だった。煩雑な管理業務や入居者の対応などすべてお任せで、30年間安定した収入が得られる「30年一括借上げ」お任せ賃貸経営、S氏の事情に沿った収入の確保、さらに相続・引継対策など、トータルな提案に「安定した賃貸収入が得られ、賃貸経営経験のない子供達にも安心して引き継げます」とS氏。そして好天の吉日、「30年一括借上げ」を採用した魅力的な佇まいのS氏のヘーベルメゾンは竣工した。入居者の反応も上々だという。節税効果と引き継ぎ後を考慮した資金計画もしっかりと練られているので、「これで私も子供達も安泰です」とS氏は胸を張った。

「お任せ賃貸経営&よくわかる相続対策」資料セット進呈!

賃貸経営を丸ごとサポートする「30年一括借上げ」お任せ賃貸経営と相続対策について解説した《資料セット》を差し上げます。ご希望の方は、下記の資料請求フリーダイヤルもしくはホームページからお気軽にお申し込みください。

0120-063-866 ヘーベルメゾン | 検索

お任せ
賃貸経営
&よくわかる
相続対策
資料セット
ヘーベルメゾン

●エリアによってはフリーダイヤルがおつなぎできない場合があります。お手数ですが、ホームページかハガキでご請求ください。●携帯電話によるお申し込みは、フリーダイヤルをご利用ください。●ハガキでの資料請求をご希望の方は、住所・氏名・電話番号・建築予定地をご記入の上、〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル27階 旭化成ホームズ集合関西支店 までお送りください。

*30年一括借上げ…旭化成ホームズ(株)でお建ていただいた新築賃貸(自宅併用含む)を、旭化成不動産レジデンス(株)がオーナー様から30年一括して借上げ、貸主となって一切の管理・運営を代行するシステムのこと(注1)築15年目安の弊社長期修繕プログラムに基づくメンテナンス工事の実施などが前提となります(注2)2年毎に家賃の更新を行います(注3)このシステムは、エリア・物件によってはご利用いただけない場合がございます

ロングライフ賃貸住宅。
ヘーベルメゾン

大阪医科大学 仁泉会ニュース

謹賀新年
2016

仁泉会ニュース 第 47 卷 第 1 号
発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7
電話 FAX
072-682-6166 072-682-6636
発行者 発行部数
河野 公一 6,100 部
URL
http://www.jinsenkai.net



P3

新年のご挨拶

大阪医科大学 仁泉会理事長 河野公一
 大阪医科大学理事長 植木 實
 大阪医科大学学長 大槻勝紀
 静岡県支部長 吹田浩之／三重県支部長 子日光雄／大阪府支部連合会会長 佐藤公彦
 西区支部長 浅野彰彦／大正区支部長 石村俊信／生野区支部長 村田高穂
 浪速区支部長 久保田泰弘／阿倍野区支部長 福本敏子／東住吉・平野区支部長 園谷昇
 住吉・住之江区支部長 霜野良一／豊中市支部長 渡邊一三／摂津市支部長 黒本成人
 東大阪市支部長 大西洋一郎／藤井寺市支部長 山島忠郎／堺市支部長 村木宏要
 泉大津市支部長 中透／貝塚市支部長 川崎康寛／神戸支部長 安藤嗣彦
 和歌山県支部長 古田浩太郎／島根県支部長 中島徹／岡山県支部長 小出尚志
 香川県支部長 石田達也／愛媛県支部長 井関亮甫／高知県支部長 浜脇弘暉

P26 広岡浅子氏で話題の大同生命本社ビルを直撃！
 P30 受章・受賞報告

P31 第 28 回日本口腔・咽頭科学会総会
 ならびに学術講演会を開催して

P32 仁泉会福井県支部だより

P33 仁泉会阿倍野支部総会と懇親会の報告

P34 大阪医大女医会のご案内

P35 平成 27 年度仁泉会住吉・住之江支部総会
 および懇親会の報告

P36 平成 27 年度仁泉会神戸支部総会報告

P38 仁泉会神戸支部ゴルフコンペ報告

P39 八起会（学 8 期クラス会）

P40 珊瑚会の記

P43 学 13 期同期会報告「10 月 3 日、4 日、
 39 年卒南禅寺菊水に集う」

P44 行事案内

P45 大阪医科大学学部 22 期卒業生同窓会（48 会）報告
 第 89 回ゴルフ 48 会報告

P46 学部 26 期同期会の報告

P47 三節会（学 30 期同窓会）のご報告

P48 大阪医大ギター・マンドリンクラブ OB 会開催さる

P50 平田先生退任祝賀会

P51 第 6 回 大阪医科大学卒業生同好会ゴルフ報告

母校の胸部外科学教室の専門教授・根本慎太郎先生が
 ヒット中のドラマ「下町ロケット」で医療監修を担当！

P52 祝・教授ご就任！園村哲郎先生（学 35 期）

P53 平成 28 年度学 14 期（36 会）同窓会のお知らせ

P54 まんが

P55 リレーエッセイ

P56 エッセイ「ピッタシな話（3）」

P57 会員著書 大谷 良先生（学 40 期）

P58 新聞切抜 BNCT、北陸平先生（学 16 期）

P59 松浦尊磨先生（学 21 期）鈴木富雄先生（総合診療科特任教授）

P60 本部だより セミナー報告

P61 編集後記

新年のご挨拶

大阪医科大学仁泉会理事長 河野公一（学 21 期）

新年明けましておめでとうございます。

会員諸先生には、ご家族の皆様共々ご健勝にて穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より仁泉会の活動につきまして、種々ご助力ご助言を賜り厚く御礼申し上げます。

仁泉会は一般社団法人大阪医科大学仁泉会として新定款の下、2 年前より新たな歩みを始め、その公益目的である、学術振興および研究助成事業、良医育成のための医学部学生に対する奨学金貸与事業、また一般事業である、会員諸先生の福利厚生への支援や母校の発展向上に寄与する各種事業など、会員諸兄のご助力のもと推進してまいりました。

新定款発足後、本部理事会一期目（2 年）の方略として、内田實（学 12 期）、安藤嗣彦（学 20 期）両副理事長を中心として新役員の会務分掌を明確にし、総会でお認めいただきましたこれら事業計画を円滑に進めるべく組織強化に努めてまいりました。

昨年 6 月には、両副理事長をはじめ本部理事の先生方にはご無理を申して、これら事業をさらに進めるべく 2 期目のご留任をお願いしたところです。

そのような中、全国で活躍されている各地区的会員諸先生のより活発な交流と、今後の活動に関するご意見をお聞かせ願うことを目的として、一昨年 3 月 8 日に関東地区合同の仁泉会総会を東京で、また昨年 3 月 2 日（土曜日）には、同様の趣旨で四国地区総会を高松で、3 月 29 日（日曜日）には岐阜、愛知、三重県を中心に長野県、静岡県の先生方の参加も得て名古屋で仁泉会総会（新三水会）を開催させていただきました。

この他多くの県で地区総会が開催されました
 が、これらの会を通じて会員諸兄のご活躍をつぶさに感じることが出来、また今後の持続的な会の開催を希望される声が多く、今後の活動に對して数々の貴重なご意見を直に賜りましたことは、大変有意義であったと思っております。
 これら会の開催にご尽力いただいた各地区役員の先生方にあらためて厚く御礼申し上げます。

一方、一昨年 8 月 23 日には、本学が国際交流協定を結んでおります台湾の私立台北医科大学同窓会と交流協定を締結いたしましたが、その成果は、本学法人の下にある高槻高校の昨年の台湾研修時に同大学同窓会長李先生のお世話を
 より、台北医学大学附属病院研修や交流会の開催等に結びつきました。

さて今年 3 月 19 日（土曜日）には九州各県の先生方に福岡にお集まりいただき合同の地区総会を、また近畿地区では久しく会が開催されていなかった滋賀県仁泉会総会を 3 月までに開催を予定しておりますが、関係会員諸兄にはぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

今後は同様に数県にまたがる地区総会を開催していただき、各支部の更なる活性化、会員相互の親睦と情報共有をお願いして参る所存です。各期クラス会や支部会開催の節には本部事務局にまでご一報いただければ幸いです。

現在本部理事会では大阪医科大学の新法人化に伴う仁泉会選出役員の 7 名から 5 名への変更に伴う選考規定の改定、理事長をはじめとする本部役員の任期制の検討、新法人の下に加わりました大阪薬科大学同窓会との交流など山積します課題に対応してまいる所存ですが、これらについては次回の総会などの場で逐次ご報告してまいります。

今年も引き続き会員各位のご支援、ご助力をお願い申し上げますとともに、会員並びにご家族の皆様が今年一年ご健勝でご活躍されることを心より祈念申し上げます。

新年のごあいさつ - 医療系総合大学・ 学園への発展の刻 -

**学校法人大阪医科大学 理事長
植木 實**

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

現、最近の世界情勢は、パリで大きな同時多発テロを引き起こすなどの中東の凶悪なイスラム過激派組織「IS」、危険な北朝鮮に加え、領土拡張を謀るロシアと中国が自国の主義主張を唱えて実行するなど、不安定な状況にあります。このような中において、日本は安倍首相が精力的に世界各国を歴訪し、平和外交に努めているのは印象的です。

本邦は、経済的にデフレ脱却を果たし、円安・ドル高、株価の上昇、企業の業績回復もみられる一方で、エネルギー源の混迷、国内消費の低迷及び超少子高齢化・人口減少などの問題を抱えながら、微妙なバランスの上に経済の安定があるように窺えます。

大阪医科大学は、5~6年前から努力目標の 1 つとして掲げてきた組織（学校力・病院力）の強靭化と、そのベースとなる教職員の能力の向上を感じ取れるようになりました。特に法人が推進してきました教職員自身による SSD (Staff Self-Development)、即ち自己研鑽、自己啓発が進み、各々の能力（教育、研究、診療、看護、技術、事務力）が向上、併せて人間性（integrity: 誠実性）及び個人や部署間のコミュニケーション力が高まっています。これらの向上が法人の経営と運営への参画や協働へと繋がっていることをしばしば実感し、大変嬉しく思います。

大阪医科大学は今、単科医科大学から脱皮し、

法人創設以来、目標としてきた医療系総合大学・学園に向けて飛躍の刻を迎えています。そのために取り組んでいる多くの事業の経緯について、ごく簡単にご紹介いたします。

I. 既事業

1. 健康科学クリニック及び看護学部について

5~6 年前に開設しました健康科学クリニック（平成 21 年 6 月）及び看護学部（平成 22 年 4 月）は、極めて順調に実績を積み、成長しています。健康科学クリニックは JR 高槻駅中にあり利便性が高く、今年は健診者が 2 万人を超え、人間ドックはもとより、市の検診については高槻市が発行するクーポン利用者の約 70% が健康科学クリニックを受診するなど、本クリニックは地域住民に浸透し、未病の発見、健康寿命の延伸に役立っており、市民になくてはならない施設になりました。

看護学部は、平成 26 年 3 月に初めての卒業生（学士）が誕生し、優秀な看護師として本大学病院のみならず各地の病院に就職しており、今後の活躍が期待されます。また、看護学部は大学院を併設（平成 26 年 4 月：博士・修士課程）し、看護学部教員と専門看護師の養成を始めています。そこで養成された初めての専門看護師はこの 4 月に誕生する予定で、今後の医療現場において重要な役割を担うとともに、医療のレベルアップに繋がると期待しています。

2. 高槻中学校・高等学校について

平成 26 年 4 月に合併した高槻中学校・高等学校〔生徒数：中学校（783 名）・高等学校（788 名）〕は、本学法人に融和し、大学と一体となって運営されており、国の進める高大接続・連携も進展しています。同校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、先進的な理数系教育を進めるとともに、スーパーグローバルハイスクール（SGH）教育も導入し、文理・社会系教育の向上など、さらなる

教学強化を図っています。特にネイティブによる英会話教育にも力を入れており、グローバル人材の育成を目指しています。そして、国が求める男女共同参画社会の実現に寄与するため、平成 29 年度に男女共学制を取り入れることを決定し、それに向けて新校舎建築を含めた新キャンパス整備に取り掛かっています【図 1】。本校は、進学トップ校の地位確立を目指して、今後も邁進してまいります。

3. 本学第 2 病院の設置

本大学病院の夢でありました第 2 病院の設置は、平成 27 年 7 月に高槻市南部（唐崎地区）の他の法人が所有する旧称新生病院の譲渡を受け、これを大阪医科大学三島南病院と名付けて開院致しました【図 2】。病床数 214 床、急性期・慢性期、リハビリ、透析及び訪問看護ステーションを備えたケアミックス型病院です【図 3】。現在、医療を続けながら施設の改修と大学病院から医師・看護師・事務員の投入を図っており、3 月頃には大学病院並みの医療レベルに引き上げたいと思います。ここは、本学医学部・看護学部の学生及び研修医等が、大学病院にない慢性期、リハビリ、介護の医療分野を学ぶことができる必修の施設になります。

II. 進行中の事業

1. 中央手術棟の建築について

本大学病院に求められてきた新中央手術棟は、現病院西側の約 2,000 坪の土地に、創立 90 周年記念事業の一環として平成 26 年 8 月に着工しました。平成 27 年末の竣工を目指して工事は順調に進められ、工事の防護壁が外された同年 11 月頃には、6 階建の大きな外観が姿を現しました【図 4】【図 5】。

この中央手術棟は、手術室 20 室（内、日帰り手術室 4 室）、ICU（16 床：個室タイプ）、手術材料室、心臓手術病棟及び消化器手術病棟から成り、地域の皆様の要望に応える、より安全



【図 1】高槻中学校・高等学校 新校舎完成後のイメージ図



【図 2】大阪医科大学三島南病院：外観

総病床数 214 床

- 敷地面積：5766.81m²
- 建築面積：3246.47m²
- 延床面積：8239.98m²
- 構 造：鉄筋コンクリート造4階
- 駐車場：58台



主要医療設備・検査機器

- 血液浄化センター、サイバーナイフセンター
- 高精度定位放射線治療装置、X線一般撮影装置、X線TV撮影装置
- MR I (1.5T)、マルチスライスCT、血管撮影装置
- デジタルマンモグラフィー装置
- 各種超音波診断装置（心臓、腹部、下肢他）、脳波計
- スパイロメーター、人工透析装置、体外式衝撃波結石破碎装置
- 眼底カメラ、各種内視鏡（上部、下部、気管支）

【図 3】大阪医科大学三島南病院：設備・概要

で先進的な手術が可能な新鋭設備を備えます。3 月までに機器類の据え付けなどの整備を行い、平成 28 年 3 月 12 日（土）午後に見学会と記念講演会を催す予定です。ぜひご参加をお待ち申しあげます。



【図4】中央手術棟 外観（平成 27 年 12 月 1 日現在）

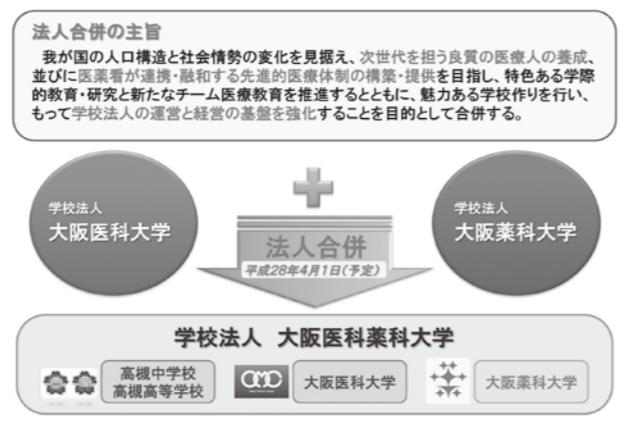
2. 学校法人大阪薬科大学との法人合併について

平成 23 年に基本合意書を手交した大阪薬科大学との法人合併は、順調に法人間協議が誠実に進められ、平成 27 年 3 月 19 日に合併契約書への調印がなされました。

現在、法人合併申請書が大阪府を経由して、文部科学省で審査が行われています。順調に進めば 12 月末に法人合併認可が下り、公告期間を置いて平成 28 年 4 月 1 日に合併予定で、新法人名は大阪医科大学となります【図 6】。新法人は、両大学・学校それぞれの個性を生かしつつ、連携の相乗効果により幅のある教育研究を行い、医療系総合大学・学園として独自性を持つ学校作りを目指します。特に大学間では、相互の教育・学術交流や共同研究が活発化し、新たな分野を切り拓けるものと思われます。尚、大学間の統合は、法人間及び大学間が融和しながら進められます。



【図5】現病院棟とつなぐ渡り廊下（5階・3階で連結）



【図6】法人合併の基本的な構図

3. がん最先端医療、BNCT 医療施設の設置について

次世代のがん治療法 BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）医療施設の誘致が決定されました。従来の X 線、重粒子線及び陽子線療法は、がん組織（病巣）に照射する主要な放射線治療法ですが、この BNCT による手法はホウ素を取り込んだがん細胞に中性子線を照射することでがん細胞のみを破壊する画期的な治療法といえます。

国家戦略特区プロジェクトとしての認定にも取り組んでおり、本学敷地内に「関西 BNCT 医療センター」が設置されれば、がん治療を目的とする関西（西日本）で初めての試みとして、当該基盤研究を進めている京都大学原子炉実験所、大阪府立大学や大阪大学を含め、多くの大学の研究者及び各がん診療連携拠点病院と連携する共同利用型施設となります。現在は脳及び頭頸部がんに限られていますが、他臓器がんにも応用が期待されます。同施設は本学敷地内（旧京都大学化学研究所跡）に建築されますが、経営と運営は本学から独立させた一般社団法人（いずれ公益社団法人化）が担います。施設の建築、設備等は SPC 或いは SPV（特定目的会社）が行い、当該社団法人がそれを借り受ける形を取ります。本学法人にも財政的な負担は生じますが、世界的に発信できるがん治療の先端研究成果が期待できることから、設置誘致に踏み切りました。現在、近畿の有識者から構成される関西 BNCT 医療センター設立準備委員会で様々な課題を検討しており、平成 28 年 1 月頃に一般社団法人、同年 2 月には SPV を設置、建物の基本設計、実施設計と進め、同年 8 月に着工される見通です【図 7】。

おわりに

平成 28 年度は、本学法人の設立理念にも共通するサステナビリティ（持続性ある社会貢献）を果たしつつ、それをさらに拡大する年といえます。社会貢献として将来の社会の変革を見据



建築面積
延床面積
階構造
竣工
BNCT開始

1,295m²
3,750m²
地下 1 階、地上 3 階
鉄筋コンクリート造（耐震構造）
平成 30 年 2 月（予定）
平成 30 年 6 月（予定）
平成 31 年 8 月（予定）

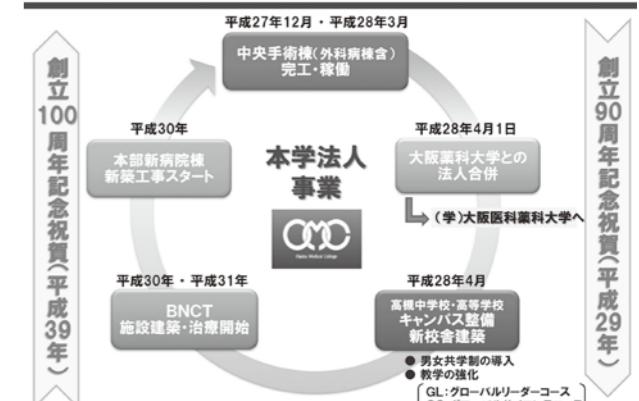
【図7】関西 BNCT 医療センター 完成イメージ図

えつつ優れた教育、研究及び診療を行っている本学法人が、仁泉会の諸先生をはじめ学生（生徒）とその保護者の方々、教職員及び患者様とそのご家族、地域の皆様や行政及び取引業者関係の方々など、多くのステークホルダーを惹きつけられる機関になれるよう、情熱を持って事業や改革を進めてまいります。

大阪薬科大学との法人合併や BNCT 医療施設の誘致を含めた上述の諸事業は、開学以来の大事業であり、本学が魅力ある医療系総合大学・学園へ発展する重要な刻です【図 8】。そのためには、本学法人に関わるすべての方々のご協力は欠かせません。そして最も大切なことは、誠実性と能力のある大学人材を一人でも多く育成し、また指導者自身がそのように変わっていくことであり、それによって法人全体の成長が成し遂げられると思っています。

仁泉会の皆様には、今後ともよろしくご指導とご支援をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご活躍を祈念し、新年のご挨拶と致します。

【図8】法人事業～現在から近未来へ～



新年のご挨拶 —創立 90 周年に向かって 学長としての抱負—

大阪医科大学学長 大槻勝紀（学 27 期）

仁泉会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。本年が会員の皆様方にとりまして実りの多い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年は大学にとりましても中央手術棟の完成、大阪薬科大学との法人合併および BNCT 医療拠点の整備事業の開始など、多くの事業が行われる年でもあります。

新年を迎えるにあたりまして、学長として教育と研究の場であるアカデミアについての抱負を述べさせていただきます。

まずは、私自身学長就任 7 か月を過ぎて、本学が抱える解決、改善すべき教育と研究の問題点が見えてきました。現在、学長の下に教育および研究戦略会議を開催し、私の 5 つの方針 (1. Innovation, 2. Translational Research, 3. Globalization, 4. Social Contribution, 5. Open mind) に基づいて、医学部・看護学部における関係各部署（研究支援センター、教育センター、大学院の教員および教育・研究関係の職員）のリーダーとともに具体案を作成し、教育・研究集会、学報や HP で日々、公表する予定です。

1. Innovation

本学になかなか育たない「教職協働」の仕組みを構築する必要があります。昨年 11 月に大学の組織図において研究機構を大学院から外して、研究支援センターと名称変更して独立させ、さらに今まで分散していた研究関係の事務部署を研究推進課としてまとめセンター内に配置することにしました。これにより学長の下で公的研究資金獲得事業が機能的かつ迅速におこなわれ、また研究者へのサービス向上が

期待出来ます。更にカリキュラム改革や IR (Institutional Research) の充実を通じて研究支援の強化を図っていきます。

2. Translational Research

基礎的研究を充実させ臨床研究との連携を図り、本学の特徴ある研究に対し研究費の助成を行い、各種 GP に対応できる研究拠点の形成を行います。研究拠点としては BNCT 基礎研究拠点（京都大学、大阪大学、大阪府立大学等）と連携した BNCT 臨床研究、内視鏡・内視鏡手術や医療材料の開発における産官学連携事業、骨盤内視鏡的外科手術における世界ネットワーク形成事業、本学と大阪薬科大学が連携した創薬研究、各種動物における変異や遺伝子組み換えによる疾患モデル研究などがあげられます。

3. Globalization

中山国際医学医療交流センターの活動を支援します。本学に特徴ある医療系の学生や研究の国際交流を盛んにし、単位互換や共同研究を推進します。教育では国際認証（分野別医学教育認証）を見据えて平成 29 年に新カリキュラムを導入し、国際認証を受審する予定です。

4. Social Contribution

兵庫、高知県の寄附講座を活用し、医師派遣だけでなく薬剤師、看護師、学生など多職種連携を組んで、来るべき少子超高齢化時代に対応すべく地域医療を現場で学んでいきます。社会に貢献できる医療人の輩出は医学部と看護学部を有する本学にとって社会的義務でもあります。そのためには必要な国家試験対策を学生に提供するとともに、国から求められている厳格な進級判定や卒業判定を行います。

5. Open Mind

学習者や教員に関わる重要な情報を共有化し、見える化を図ります。例えば科研費等公的研究資金の応募状況や獲得状況、国家試験合格率、建学の精神、アドミッション、カリキュラムおよびディプロマーの 3 つポリシー、ポートフォ

リオやキャリアパスを提示し、本学のステークホルダーと情報を共有化し、相互理解を深めます。

本学は来年、創立 90 周年を迎えます。本学の更なる飛躍のため、仁泉会会員のますますのご理解、ご支援、ご協力を心からお願いしますとともに、皆様方のご多幸とご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のご挨拶

静岡県支部長 吹田浩之（学 36 期）

新年、明けましておめでとうございます。あわせて、全国におられます大阪医科大学仁泉会会員の皆さまのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

早いもので、大阪医大を離れて 25 年の月日が流れました。最近は大阪を、特に高槻市を懐かしく思う事が多くなりました。これも年齢を重ねて、新しい事に挑んでいくパワーを失いつつあるからでしょうか。

ところで、旧静岡市には総合病院が 5 つと徳洲会病院があります。そのうち県立総合病院はほとんどが、市立静岡病院は半数以上のドクターが京大医学部の出身です。退職してそのまま静岡市でクリニックを開設した先生も多数おられます。大阪医大出身の医師が静岡市の病院に勤務をされたり、開業をされているのも、その影響が大きいだろうと思います。その関係で関西弁を聞く機会も多く、自分も静岡市出身なのに、いまだに「なんでやねん」とか「ええんちやう」などと喋っているのには驚きます。

大阪を求めてというわけではないのですが、ハーベスト有馬六彩と言うリゾートマンションを購入して、月 1 回以上は泊まりに行っています。串カツを食べに行ったり、宝塚歌劇を見に行ったりして、大阪を満喫しています。老後は

有馬温泉で開業したいなと思ったりします。

昨年 7 月に麻酔科の南教授を招いて、大々的に仁泉会支部会を開催しようと企画して案内も出しましたが、4 人しか集まらず中止しなければならないという失態をしてしまいました。自分の人望のなさを痛感した出来事でした。今年は 3 月にもう一度同じ企画で支部会をするつもりです。案内が届きました静岡県支部の皆様、是非参加して頂き私を男にしてください。よろしくお願い申し上げます。

「怒」のところ

三重県支部長 子日光雄（学 25 期）

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。平成 25 年度より三重県支部長を拝命いたしました学 25 期の子日です。卒後 40 年の節目を迎え、母校のますますの発展のために尽力する所存です。

喫緊の課題といたしましては、ここ数年各支部において総会の出席率が低下していることがあります。仁泉会会員の高齢化に加え、卒業生の勤務先、連絡先が掌握されないまま経過して、会員数の減少を来していると推察されます。個人情報の問題もありますが、仁泉会本部より勤務先等の基本情報を提供いただければ幸いです。

昨年、愛知県支部の呼びかけで、愛知、岐阜、長野、三重の四県合同の「新三水会」が発足しました。平成 27 年 3 月 29 日（日）、当支部も参加しましたが、予想を上回る盛大な合同支部総会でした。今後も二年に一度開催されますので、四県の仁泉会会員の皆様方には、ぜひ御出席をたまわりますようよろしくお願い申し上げます。

さて、最近わが國のみならず、世界的に企業による犯罪、事件が多発して、枚挙にいとまがないほどです。代表的な事例として、大手会社の粉飾決算、不正会計、偽装工事、食品偽装問題、

車の不正審査、贈収賄問題、個人情報の漏洩などがあり、個人的なものでは賭博問題、性犯罪、殺傷事件などが毎日のように報道されています。長く続いた経済至上主義、放恣的な自己欲求の追求などが原因と考えられます。われわれが祖父母や両親の世代から駆けられてきた勤勉、忍耐、恥を知る心などは何処へいってしまったのでしょうか。

このような社会の風潮は、子供社会にも波及して、いじめ、不登校、自殺等の誘因となっているようです。今こそ、われわれが自らの行動に襟を正すべきでしょう。論語は、生きてゆく上で一番大切なものは恕（他者への思いやり）だと教えています。これに続く言葉が「己の欲せざるところ、人に施すなれ」です。新年を迎え、「恕」のこころが広がってゆくことを願っています。

年頭所感

大阪府支部連合会会長 佐藤公彦（学12期）

平成 28 年（2016）の新春に当り、謹んでお慶び申し上げますと共に、所感の一端を申し述べさせて頂きます。

昨年 11 月の大坂 W 選挙では、橋下暫定党首側の圧勝に終り、都構想及び道州制への長い道程が始まるように思われました。

母校の長期ビジョンにつきましては、昨年 5 月の仁泉会総会で植木理事長から、創立百周年（平成 39 年）を見通したご講演が示され、感嘆しました。即ち、現在、解体が進行中の中央資料館（旧・化研）の跡地に、国家戦略特区として位置付けられた BNCT 施設の建設プランが示されました。

大阪府連では例年、11 月第 2 土曜日に学術講演会を実施しておりますが、昨年は本学先端医療開発部門のがんセンター特務教授・宮武伸一

先生に「夢の腫瘍選択的粒子線治療、BNCT」と題するご講演を拝聴させて頂きました。

BNCT とは Boron（硼素）、Neutron（中性子）、Capture（捕捉）、Therapy（療法）の略で、製造元の住友重機械工業の商品名となっていますが、宮武先生は施設が充分には整っていない京大熊取炉で末期癌の臨床に携わされておられました。BNCT は被曝しない装置で、PET が診断だけで使用されているのに対して、BNCT は治療として使用される夢の治療法のようで、フロワーからの感激の拍手は鳴りやみませんでした。

紙面を拝借して、大阪府連について言及させて頂きますが、大阪府下には現在、45.6% の仁泉会会員がおられ、仁泉会支部数は 50 支部。大阪市内に 24 支部、大阪府下に 25 支部、それに大学支部ですが、会員数の寡少な支部では新定款に基づく支部、例えば、医療圏ブロック等も考えられております。

大槻新学長の強いリーダーシップの下に、母校が BNCT を中心とした癌治療の聖地になるという初夢が、正夢となる日も近いようです。

母校の内科系講座の充実を

西区支部長 浅野彰彦（学32期）

仁泉会会員の諸先生方、明けましておめでとうございます。

私は大阪市西区の（公益財団法人）日本生命済生会付属日生病院という 350 床の総合病院で神経内科部長を務めております。平成 8 年 5 月に本学から当院に赴任して足かけ 20 年となりました。

最近における臨床研修病院の関心事は新専門医制度への対応でしょう。他科でも似たような状況と思いますが、内科系でも初期研修の 2 年に加え後期研修の 3 年の間に経験すべき疾患の

全てを当院単独で行うことは極めて困難と/or か殆ど不可能と思われます。新制度の下ではおそらく多くの診療科で以前のような大学を主体とする医師のキャリアアップの仕組みが構築されることでしょう。すでに当院と関係している二つの国立大学からは具体的なメッセージが示されています。

私が医師になった頃から、主に新設の医大から始まった内科系講座の臓器別の再編成の波は多くの国公立大学をも飲み込んで、いわゆるナンバー内科・ナンバー外科はほぼ姿を消しました。しかし行き過ぎた臓器別の診療・研究・研修の弊害も次第に明らかとなり、最近では総合内科・総合診療科を設ける動きが顕著となっています。

私が入局した母校の第一内科では、その流れの中で消化器・循環器という内科中の大きなボリュームを占める部門を除く多くの専門分野を持つ、旧来のナンバー内科的な存在として残っていた稀有な存在だと思います。時代の流れに乗り遅れてここまで来た第一内科ですが、一周遅れで時代の先頭になっているのかもしれません。

聞くところによると、第 4 内科構想として第一内科の専門分野をほぼ二分する案が検討されながらなかなか合意形成できていないそうです。ここまで来て今さらの臓器別編成についてはいささか疑問に思うこともあります。一案として第一内科を総合内科的な存在として残して内科系の研修の充実を内外にアピールするという手もあると愚考します。

昨年秋の大坂府連学術講演会で大槻新学長の御挨拶や記念講演を聞いたところでは、今後の本学はがん治療に重点を置くようあることを踏まえ、新設の第 4 内科は「がん治療」を専門とした腫瘍内科とし設立されることもありうるのではないかと考えます。

おそらく私が考え付くようなことは、本学の幹部の先生方や仁泉会の理事の先生方には先刻

承知の話だと思います。研修医制度を弄ったものの医師の適正配置には無力であった役所が、専門医制度の改革の名のもとに大学の医局に権力の一部を委譲しようとしている機会を逃さず、大学と関連病院の協力の下で共に発展していくように祈っています。

私のちいさな挑戦

大正区支部長 石村俊信（学22期）

新年明けましておめでとうございます。

今年もやはり暖冬だ。私が子供だった頃の冬は、厳寒のためコート、マフラー、手袋は必需品。家の中ではこたつに入りこたつの上にはみかんが置いてあった。そんな頃を懐かしく思う。温暖化だけではない、気候も流通も人も全て時代は確実に変化している。笑われるが、挑戦と位置づけスマホとやらを買ってみた。自己変革の一歩である。なるほど便利だ。必死にスマホを使っている自分がかわいいじゃないかと思ってしまう。おしゃれな自転車も買った。息子の自転車のまねをしてブランド名はトレック。流行りの自転車だ。これで訪問診察に出かけている。

70 歳を目の前にして、いや 68 歳だ。まだまだ行ける。行こう。俺ひとりではない、あいつも頑張っている。肺炎球菌の CM に出てる加山雄三氏だ。78 歳の彼は現役で活躍している。勇気づけられながらも CM の健康寿命という言葉が心に響く。まだまだ行けると毎日思いながらもどこに行くのか考える自分がいる。

3 年前に介護老人保健施設を設立し、今年は社会福祉法人を立ち上げ特別養護老人ホームも設立した。次は何をしたいのか。事業の拡大か、個人の時間の優先なのか、自問自答する毎日だ。医師である自分と一人の男、父親、色々あるがやはり医師を優先してしまう。開業医の道を選択して 15 年が経過した。その間、医療制度も

変革し社会保障改革が叫ばれるが、地域を支える医師としてやはり人の心に寄り添える医療の提供をと思う。医師になって 40 年あまり、頼って来てくれる患者さんに安心を与え、痛みを軽減し苦痛を取り去り先生に会えて良かったと言つてもらえる医師になったつもりである。もっとも少し反省は必要かも知れないが。

先日、私が運営している有料老人ホームに 109 歳のおばあさんが入居して下さった。思わずまだ 40 年あると思った自分がいた。やる気が満ちてきた。

私は大阪の大正区で開業している。陽気で人情味あふれる街である。沖縄県人会があり沖縄出身の方が少なくない。沖縄の方言の一つにナンクルナイサーという言葉がある。挫けずに正しく歩むべく努力をしたら良い日がやってくる。努力次第でなんとかなるという意味の言葉である。時代の変化に取り残されない様に自己変革しつつ、ナンクルナイサーと思いながらスマホ片手に自転車を走らせ訪問診察に走っている私である。これからもずっと続けられることを願いながら。

夢と大脳辺縁系

**生野区支部長
村田高穂（学 22 期）**

会員の皆様、新年おめでとうございます。

昨年の同誌新春号で「臨死体験と大脳辺縁系」を執筆させていただきましたところ、科学的な裏づけの乏しい文章への批判も含め、数人の読者からご意見をいただきました。とくに、共鳴いただき臨死体験に関する文献をお送りいただいた先生には感謝申し上げます。脳神経外科臨床医としての拙い感想文と思い、ご容赦いただきたく思います。

さて、今年も懲りずに「大脳辺縁系」の話です。夢のメカニズムは、帯状回に蓄えられた過去

の体験や記憶が無差別に引き出されることで発生すると考えられています。一方で、睡眠には「レム睡眠」と「ノンレム睡眠」があり、それぞれの期で夢の内容が異なることが分かってきました。すなわち、レム睡眠期は現実離れした夢、ノンレム睡眠期は比較的現実的な夢を見るとされています。

睡眠中、レム睡眠期に大脳辺縁系の活動が活発となり、比較的新しい記憶が容易に引き出されるため夢を見易くなり、同時に記憶を論理的に分析する大脳皮質機能が抑制されることから、夢は現実離れした内容のものが多くなると考えられています。この期には眼球がクルクルと不規則に動き Rapid Eye Movement (REM) 睡眠と呼ばれ、この眼球の動きがレム睡眠期の特徴とされています。いわば、レム睡眠期の夢は、浅い睡眠状態にある人が、無差別に引き出された過去の体験や記憶を元に、眼球の動きとともに関連性を持たないシーンを作り出すため、ストーリーの無い現実離れした夢になると考えられます。False memory (「臨死体験と大脳辺縁系」参照) も夢を作り出します。怖い夢や見たくない夢は、トラウマという False memory として扁桃体に記憶され、次の睡眠時に再び夢として引き出されるのです。繰り返し見てしまう「金縛り」などはその一例です。

一方、ノンレム睡眠期は他の動物には無い人間特有の睡眠状態とされます。

扁桃体や帯状回など認知記憶に関係する大脳辺縁系の活動が休止し、大脳基底核が活動して作り出す夢とされています。大脳基底核は、小脳とともに運動系に関係する記憶を形成することでも知られ、運動記憶は認知記憶と比較して獲得後安定した情報として蓄えられます。幼い頃に覚えた自転車に大人になってから特別な練習なしに乗れることなどはその良い例です。したがって、ノンレム睡眠期の夢は、過去のことであってもストーリーは比較的現実的です。子供の頃住んでいた家や部屋に自分が居たり、時

には随分前に亡くなつたはずの親や友に会えることもあります。

臨死のとき、うなされながらレム睡眠期の恐怖や苦痛の夢を見る時間はできるだけ少ない方が助かります。人間のわがままかも知れませんが、ノンレム睡眠期の楽しかった想い出の夢を見ながらそのときを過ごしたいものです。

臥薪嘗胆

**浪速区支部長
久保田泰弘（学 36 期）**

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。昭和 63 年に大阪医大麻酔科に入局し、大学で手術麻酔、ペインクリニック、三島救命で救急医療、ICU 等で勉強させていただき平成 13 年に大阪市浪速区でペインクリニックを標榜し開業いたしました。その後、日々の業務と自身の趣味の時間に追われていましたが平成 19 年に浪速区医師会で理事に就任させていただき、様々な事業を立ち上げることになってしましました。当医師会のメンバーは、やってみたいことを提案すると、会長等皆が非常に協力的で、邁進せざるを得ない雰囲気があります。最初はゴルフの親睦会で言い出したことだったのですが、ブルーカードシステム（在宅患者や外来重病患者を予め 15 の病院のどこかにデータ登録し、急変時に協力病院が一致団結して受け入れるシステム）を平成 21 年に実現し、その後医療機関同士で、患者の基礎疾患情報、血液検査、薬剤情報を一体化したデータをクラウド利用できる iProject を平成 27 年に開始したり、40 代の医師を中心とした若手医師の会を立ち上げたりしてきました。

これらの仕組みを広報するために、在宅医療学会、医療情報学会、医学会総会、日本医師会等で発表を重ねてきました。

学生時代や麻酔科研修時代、病院勤務時代か

らは考えられないことです。

また上記のブルーカードシステムを大阪医大雑誌に投稿することにより、卒後 28 年目で学位までとさせていただきました。麻酔科南教授の進言と協力がなければ成し得なかった事だと感謝しております。

また、同期の森川先生の発案により大阪医大を盛り上げるために若手医師の会（若竹医師の会）の立ち上げに協力しています。

これは、科目を超えて学年を超えて主に大阪医大出身の先生方に講演していただき親睦を深めようとするものです。仁泉会会長河野先生や大阪医大大学長大槻先生にもご講演頂きました。諸先輩方はいい先生ばかりですが、開業してしまってなかなか科目を超えてお話しできる機会がありません。年 4 から 6 回開催しておりますので、積極的に広報していきたいと思っております。開業して 10 年以上立つと、次第に医師会と自分の科目的先生方以外とは会わなくなります。皆様方是非、学年、科目を超えた交流会を活性化して大阪医大のエネルギーを集結させましょう。

新年を寿ぎて

**阿倍野区支部長
福本敏子（学 24 期）**

新年あけましておめでとうございます。

仁泉会会員の皆様には、恙なく新年をお迎えの事と存じます。日頃は何かとお世話になり有難うございます。阿倍野支部も藤本正三先生のお力添えで昨年 15 年ぶりに活動を再開する事ができ、よちよち歩きを始めましたが、おかげ様で今年も昨秋に、総会を開催し少しづつですが形が整つてまいりました。

総会では、学年を越え、専門科を越え旧交を温める事により、一層の病診連携・診診連携が図れるようになりました。今は年 1 回の総会で

講演会や音楽会を楽しんでいますが、今後はさらに連携強化ができるようグルメの会やゴルフコンペなども企画してはどうかとの意見があります。

微力ですが、同窓の先生方のお役に立たせていただきたいと思いますので今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申しあげます。

年賀状の宛名書き

東住吉・平野区支部長 園谷 昇（学21期）

会員の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新年特集の話題ということで、年賀状の宛名書きの話題を提供させていただきます。電算機に詳しい若い方は、ワープロソフトなどの差し込み印刷を颯爽と手際よく使用されますが、年寄りの私ごとき IT 弱者には無理です。かと申しても、老妻ともども自筆で書く気力は残っておりません。宛名書き専用ソフトを用いざるを得ないのですが、「PrintMagic」の自然な操作性を気に入っています。何より、フリーソフトです。一昨年より、Linux 版も開発され、Ubuntu 等でも Adobe AIR(2.6.0) を、少々の端末作業を必要としますが、組み込むと問題なく動きます。

宛名書きでは、苗字と名前の異体字に時に遭遇します。異体字は戸籍等を扱う汎用電算機の世界でも PC の世界でも外字で対応してきましたが、最近は、IPAmj フォントあるいは花園 A フォントを用いることで、異体字の漢字を利用できるようになりました。異体字フォントを利用するには Win10 上の Microsoft Office に Unicode IVS Add-in を組み込むか、あるいは HanyoDenshi_240.exe が必要です。今のところ、異体字フォントは Microsoft Office (2013 以降版)、Apache OpenOffice(4.1.1 以降版) とプリ

ントマジックには対応しています。IPAmj フォントは、何かと話題を振り撒く、マイナンバー制の名寄せに用いる目的で開発されましたので、今後に対応するソフトが増えるでしょう。Linux 系では PrintMagic のみしか対応しておりませんが、宛名書きの作業に重宝しております。

ところで、大阪医科大学附属病院の 2015 年度の卒後研修マッチ率は、100% (自大学出身者の割合者 61%) と立派な成績をあげられました。お慶び申し上げますとともに、関係者の多大なご尽力があったことと拝察します。

大阪医科大学仁泉会理事長の河野公一先生をはじめとする、私ども学21期（昭和47年卒）は教養部新設2年目の入学です。この時代は全国各地の広域からの入学者で構成されていました。今は、各地で、ご活躍中のこと。私自身は高槻中学・高校の出身ですので、僅か 1m の移動でした。同期の FAX 網は友紗会理事長の林豊行先生が管理なさっていますが、いつの間にか、私どもは同期の学生時代の懐かしい面影を、偲ぶ機会に遭遇する世代にもなりました。

ウイキペディアの「2016」を眺めています。さて、どんな年になるのでしょうか。明日又逢春、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念します。

新春を迎えて

住吉・住之江区支部長 霜野良一（学28期）

新年明けましておめでとうございます。私は学28期（昭和54年卒）で、平成12年より大阪市住吉区で内科・消化器科を開業しています。開業して3年程経過した頃、前支部長の大野直樹先生（学2期）より電話にて、住吉・住之江区支部長および仁泉会大阪府支部連合会の理事をしてくれないかとの要請があり、先輩の命令は絶対ということで引き受けさせていただきました。

昨年は大学においては、大槻教授が教育・研究の改革などを掲げて新学長に就任されました。また、4 年後には画期的な癌治療であるホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) の施設が大学内に誘致されることや、今年 4 月には大阪薬科大学との合併、三島南病院の開院など明るい話題が続いており大変喜ばしいことだと思っています。仁泉会においても、あまり支部活動が盛んでなかつた地域を統合（関東・四国・九州・泉州・愛知など）して、大きな成果を上げておられるときいております。

私は支部長としては、年 1 回の総会・懇親会を開催して、毎回 15 人前後の開業医および区内にある阪和住吉総合病院、阪和病院、南大阪病院の先生方の参加があり、和気あいあいと楽しい時間を過ごさせていただいております。今後は開催回数を増やして、さらなる会員相互の親睦、病診・診療連携の充実だけでなく、仁泉会の役員や大学の先生方をお招きして、大学の様子なども色々とお聞きしたいと考えています。大阪府連の副会長としては名前ばかりで大した活動は出来ていませんが、今後は会長を補佐してより一層貢献出来る様頑張りたいと思っています。

最後に、昨秋はラグビー日本代表がワールドカップにおいて、決勝トーナメント進出はならなかったものの、強豪の南アフリカに勝ったのをはじめ 3 勝もして世界で認められたことは大変嬉しいニュースでした。私の出身高校（天王寺高校）はラグビーが盛んで、部員でなくても（私は軟庭部でした）、1 年の半分ぐらいは体育でラグビーをやらされていましたので、以前はテレビでラグビーの試合をよく見ていました（新日鉄釜石、神戸製鋼、同志社大学などが強かった頃）。ワールドカップは久しぶりにドキドキしながらラグビーを観戦しました。4 年後の日本開催時のさらなる活躍が期待できそうで楽しみです。

新春のごあいさつ

豊中市支部長 渡邊一三（学34期）

2016 年が幕を明け、心新たに希望に満ちた 1 年にすべく決意していることと思います。まずは新年にあたり、恭賀新年、真摯な気持ちでご祝儀申し上げます。

私は、2000 年 3 月に大学を離れて、豊中市服部の地でわたなべ医院を開設いたしました。それから 1 年後に医療法人 三和会 わたなべ医院となり、10 年後に有料老人ホームいこいを開設、大学を離れてはや 16 年が過ぎようとしております。先進医療を行う大学とは異なり、患者さん一人一人と向き合ってレトロに地に足をつけて地道な医療をしております。大阪医科大学は、私にとってかけがえのないものであって、感謝にたえません。医療法人をして、日々、臨床医として送っていても、基本は約 15 年大阪医科大学一般・消化器外科で培った辛抱強さ、不屈の精神力、強靭な体力が基礎となって日々精進しております。昨年も執筆させていただきましたように、大学時代、夜中の 2:00 ごろ廊下を走って、自分は何をやっているのだろうと思ふ悩む日々がありましたが、今は夜中の 2:00 頃に往診して、服部の夜道を自転車で走っております、自分は一体何をやっているのだろうともがき苦しんでおります。大学時代の苦しさがあったからこそ、地域医療はやりがいがあるものと信じて日々過ごしております。私の座右の銘は七転び八起きならぬ、八転び九起きであると思っております。

卒業間近になると、医師国家試験で悩まされました。一生懸命勉強すれば受かるものでした。近年、以前にもまして、大学の授業を majime に受けていても、国家試験に受からない奇異な時代になってきております。大阪医科大学卒業生は何としても医師国家試験に合格していました

だき、もっと先の重大な光明をみつめてほしいと思っております。簡単でございますが、あいさつとさせていただきます。

新春に思うこと

摂津市支部長 黒本成人（学22期）

皆様新年明けましておめでとうございます。昨年は日本各地で台風・大雨・火山噴火など、多くの災害被害が発生いたしましたが、本年は穏やかで平和な一年であるようにと祈っています。

さて、仁泉会ニュース・大阪医科大学医師会々報などから色々と最近の母校の様子が伝わって来ますが、興味深かったことにつき感想を述べたいと思います。

まず、大阪医科大学は昨年大阪医科大学三島南病院を開設されましたが、このことは我々三島医療圏（高槻市・茨木市・摂津市・島本町）で医療に携わる者にとりまして、大変心強く感じられる出来事でした。大阪医科大学関連施設となられたことで、後藤研三院長はじめ病院スタッフの方々には、これまで以上にお世話になる機会も増えることかと思いますが、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

次に、平成 28 年 3 月には大阪医科大学付属病院に 8 号館が完成し、外科手術棟としての活用が開始されると聞いておりますが、これも新年早々めでたいニュースだと思っています。近年、高齢化社会が進むにつれて、各診療科では手術件数も増加の一途を辿っているものと考えられます。内視鏡手術、腹腔鏡手術、胸腔鏡手術、ロボット手術、血管内手術など、出来るだけ侵襲を抑えた患者様にやさしい治療法が進歩していることも、手術件数の増加につながっているのでしょうか。このタイミングで手術施設を拡大・充実させることは、まさに時宜にかなった構思と思われます。手術件数の増加に関して一言付

け加えさせていただきますと、大阪医科大学一般・消化器・小児外科では昨年手術症例数が過去最高となり、単科としては西日本の大学で最も多い症例数であったとのことです。このことは内山教授をはじめ教室員全員の努力の賜物であり、特筆に値する出来事ではないかと思っています。

続いて、大阪医科大学には手術以外の癌治療法で、先進医療とも言える注目すべきものもあります。ご存知のとおり放射線治療における「ホウ酸中性子捕捉療法（BNCT）」です。昨年新聞報道で大阪医科大学がその医療拠点となつたことを知り、大変誇らしく思いました。今後のさらなる発展を期待しています。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

Singularity is near

東大阪市支部長 大西洋一郎（学25期）

Dell が 8 兆円でクラウドの会社を買収し、Google が毎年 8 千億から 1 兆円のお金をサーバー etc に投資しているのをみると、ビッグデータがどれほど大切かがわかる。2012 年 Hinton さん率いるグループが『グーグル猫』の deep learning アルゴリズムを用いて、映像認識の競技会において毎年 1 % しか下げられなかったエラー率を一挙に 10 % も引き下げたので、2013 年、Google が Hinton さんを 300 億で又他者を 400 億で買収した。Facebook も deep learning 研究所を作り、また、Baidu [中国の Google 様企業] は 200 億で研究者を買収した。研究者の奪い合いは熾烈を極めている。日本は、1980 年代、バブルで、第 5 世代コンピュータ研究という事で、国が、570 億の巨額をつぎ込んだので、人工知能の人材は豊富であるが、教授たちが教えた弟子が教授になってまた教え

ているので、がしかし、deep learning の人材は少なく、ここ 2 から 3 年で追いつかなくては、この Key technology でも負ける。と、もう浮かび上がることはないよう思える。線形の主成分分析を非線形にして、多段にしたのが deep learning で非線形にするため、わざと、ノイズを入れるわけであるが、計算量は莫大となる。今のコンピューターはこれがこなせるので、deep learning が日の目を見たのである。IBM のコンピューター、ディープブルーがチェスでロシアのカスピアフに 1996 年 2 月には敗れたのであるが、1997 年 6 月にはもうカスピアフに勝った。又、IBM コンピューターのワトソンがアメリカの人気クイズ番組で、クイズ王に勝ったのが 2009 年 4 月である。10 の 120 乗がチェス、220 乗が将棋、360 乗が囲碁の探索樹の数であるが、将棋では、一流棋士に、ソフトが勝てる目星がついたので 2015 年開発の中止を宣言した。いくら膨大な分岐の数があっても、有限であれば、それを負かすアルゴリズムは必ず存在する。deep learning が期待されていることは、探索樹の数がたとえ無限にあったとしてもそのタイミングに応じた特徴量を、自らがふえつつある Big data に合わせて学び変更することができる事が期待されているからである。こうなれば、コンピューター自らがアルゴリズムを生み出す世界が実現するのである。いましばらくは、deep learning のアルゴリズムを、その方向性をメタ（上から俯瞰するよう）に導ける人とコラボする間が続くであろうが、病理診断では、すでに、deep learning を用いた方が、エラー率が低いと言われている。母校が発展しますように。謹賀新年。



新春雑感

藤井寺市支部長 山鳥忠郎（学16期）

新年明けましてお出で御座います。定型的な書き出しからはじめましたがちょっとした出来事から私にとって新年はきっと何かが起こりそうだと心がワクワクしています。「何事だ」といいますとジャパンラグビーが南アフリカのスプリングボックスに勝ったのです。一般的にスポーツという世界は昔から封建的なところです。ラグビーでは強豪国数ヶ国と日本のように坂の上の雲を追いかける国々があり大きな差別のあるところです。しかも日本は負けた点数の世界記録保持国です。それが世界のトップクラスのチームに勝ったのです。ラグビー世界では考えられない事が起こったのです。「やれば出来るんだ」「日本男児ここにあり」と叫びました。我々の先達は国際試合でタックルに失敗して地面にころがされたとき、こんな長い脚、こんな長い手、大きな身体を我々が手に入れるには何世紀もかかるだろうと思ったそうです。体格が良くなつたといつてもまだ小さな我々ですが、我々なりの方法と努力で勝利が得られることを証明してくれました。「ラグビーは少年をいちはやく大人にし、大人にいつまでも少年の心を抱かせる」といわれますが、こんな事で、久しく忘れていた、あの試合直前の高揚感やワクワクするような感じを思い出させ、それで新年を迎えてくれるスポーツとは良いものです。このような仕事を成し遂げたジャパンラグビーチームの選手、監督、コーチ、その他のスタッフ達の努力は大変なものだったと思います。「やれば出来る」という言葉は若い頃に親、先生、先輩から聞かされ、歳をいってからは自分の子供や後輩によく使ったものです。つくづく考えますと安易にききながし、言いっ放しにしていたものだと思います。すばらしい仕事は

あきらめず地道にコツコツと努力を出来る人が良き指導者と良き協力者を得て、良き時代に恵まれた時に出来ることで奇跡といわれても本当は当然の結果なのでしょう。私自身は後期高齢者という未知の時代に入ります。とても奇跡を起こせそうにはありませんがなんらかの形で彼らを応援してやりたいと思っています。そろそろ本学にノーベル賞という奇跡が起こらないでしょうか。

平成 28 年新年のご挨拶 27 年支部総会及び懇親会

堺市支部長 村木宏要（学 27 期）

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

一昨年 11 月に定延和夫先生（学 11 期）に統いて支部長を仰せつかりました。今後とも宜しくお願ひいたします。

堺支部は昭和 14 年頃大阪高等医学専門学校 2 期 5 名の先生方が堺の料理店に集まり一献を傾けながら昔話に花を咲かせた飲み会に始まったようです。

現在 48 名の方が会員となっておりますが、会員の方以外にまだ未入会の方も多数おられます。

■現在の役員

支部長 村木宏要（学 27 期）

副支部長 中田英二（学 28 期）

武市直範（学 33 期）

監事 北川友朗（学 33 期）

幹事 田村友彦（学 36 期） 北村 洋（学 40 期）

萬代正治（学 41 期） 太田俊輔（学 44 期）

徳原孝哉（学 48 期）

■支部総会

平成 27 年 11 月 28 日に本支部総会を行いました。開会の挨拶のあと、本年亡くなられた池上春雄

先生（高 18 期）、岡田令一先生（学 6 期）の御二人に黙祷を捧げました。続いて、本会の規約について様々な議論を行いました。

■講演会

新学長大槻勝紀先生

「大学の近況と未来への取り組み」

広報入試部長及び学務部長の経験をもとによりレベルの高い学生教育と教育環境の整備について熱く語っていただきました。また、本年、本学敷地内に国家戦略特区としての BNCT 医療拠点の誘致に成功したことを報告され、その臨床研究と適応症例について解りやすく説明いただきました。

■懇親会

引き続き行われた懇親会では武市副支部長（学 30 期）の挨拶、そして、小山一男先生（高 17 期）の乾杯発声にて始まりました。学長と年齢の若い会員は学生時代の話に花を咲かせたり、本学にご子息をお持ちの会員は本学の教育の現状に耳を傾ける場面があり盛り上がりました。

新入会の吉良先生（学 48 期）、辻本先生（学 51 期）の自己紹介を挟んで引き続きいろいろな話が飛び交い宴たけなわとなり、話はつきませんでした。

記念撮影を行い、最後に中田英二副支部長（学 28 期）の締めの挨拶でお開きとなりました。

出席者名（25 名・敬称略）

大槻勝紀 大阪医科大学学長（学 27 期）

小山一男（高 17 期） 渥東祥晃（学 6 期）

定延和夫（学 11 期） 木下裕康（学 14 期）

後藤紀夫（学 14 期） 小林敬司（学 16 期）

松崎 達（学 16 期） 塚田裕久（学 17 期）

斎藤振二（学 21 期） 村木宏要（学 27 期）

中田英二（学 28 期） 武市直範（学 30 期）

前川たかし（学 31 期） 北川友朗（学 33 期）

田村友彦（学 36 期） 中野慎一（学 37 期）

疋田米造（学 37 期） 天上俊之（学 40 期）

北村 洋（学 40 期） 萬代正治（学 41 期）

太田俊輔（学 44 期） 徳原孝哉（学 48 期）

吉良俊彦（学 48 期） 辻本直之（学 51 期）



後列左より 辻本、天上、塙田、疋田、木下、武市、田村、吉良、徳原
中列左より 北川、斎藤、中野、中田、北村、小林、前川、萬代、太田
前列左より、松崎 達、定延、小山、大槻学長、村木、渥東、後藤

謹賀新年

泉大津市支部長 中透（学 25 期）

明けましておめでとうございます。

皆様清々しい新年を迎えたことと存じます。

私は開業医 32 年目となり、現在泉大津市医師会会長を務めております。理事、副会長を 15 年程していましたが、会長職がこれ程心身ともに負担のかかるものとは考えてもおりませんでした。ストレスを貯めないように同好の医師、薬剤師さん達と週に 1 回 2 時間ほどテニスを楽しんで発散しています。

市民テニス大会などにも時々出て、また別の緊張感を楽しんでおります。

以前は家内と盆休み、正月などによく海外旅行をしました。今はイスラム国の影響で行きにくくなっていますが、エジプトのギザのピラミッ

ドの中に狭い通路を抜けて入った時の感動、アブシンベル神殿の凄さ、トルコではカッパドキア奇岩群の新鮮さは特筆ものです。

アジアではカンボジアのアンコールワットの日の出や夕日、ジャングルの中にあるタ・プローム遺跡のインパクト、ベトナムの美味しい食べ物が印象的です。

ヨーロッパではフランスのノルマンディーにあるジヴェルニーのクロード・モネの庭園が素晴らしい。夏に訪れたのでちょうど日本庭園の池に睡蓮が花をつけ、オランジュリー美術館のモネの「睡蓮」が眼前に重なり心を清められるようでした。

中国ではシルクロードの敦煌で平山画伯で有名な莫高窟、荒涼とした玉門関、サラサラの砂の鳴沙山が良かった。

他の国もそれぞれに良く、機会を見つけて今後も良い旅をしたいと思います。

新年のご挨拶

**貝塚市支部長
川崎康寛（学35期）**

仁泉会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年10月には国勢調査が行われました。インターネットが普及したため、今回からはネットで回答できる世帯はネットで、それができなかつた世帯は従来通りの調査票でという方式での調査でした。調査実施の主体となるのは、地域自治会より推薦された国勢調査員です。ネットを利用した調査とはいうものの、基本はこの国勢調査員が自らの足で地区内をくまなく歩き回って、パンフレットや調査票を配ったりすることになります。私は町会役員をさせていただいている関係で国勢調査員も拝名することとなり、自宅を含む地域の約90軒を担当しました。9月上旬から調査準備が始まり、各戸訪問してインターネット回答に関する書類の配布を行いました。自宅の近所とはいえ、普段ほとんどお付き合いのないご家庭もあります。国勢調査ということで全戸訪問してみると、自分の診療所内にいるだけでは見えない世界がすぐそこにあらる事に気づかされます。特に路地奥などに住んでおられる単身独居老人の方の中でも、庭先などもきれいに掃除して暮らしている方もあります。一方で、庭には草が伸び放題で家の中も片付けられておらず荷物の間で生活しているような方もあります。守秘義務がありますので詳しくは書きませんが、他のいろいろな家庭事情を抱えている方もあります。

医師法第一条では「医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」とあり、また公衆衛生は、集団の健康の分析に基づく地域全体の健康への脅威

を扱うものです。そうであれば地域を知らずして、医師であるとは言えないということになります。「午後から地域へ」とは日本医師会発行の生涯教育シリーズ「在宅医療」の副題であり、ここでは主に診療所医師に「診療所内にとどまらず在宅医療を致しましょう」というメッセージとして「午後から地域へ」という言葉が使われています。しかし、在宅患者の診療をしていなくても、やはり医師は「午後から地域へ」出るべきでしょう。診療所の近くをぶらぶら散歩するだけでも何かが見えてくるのではないかと考えています。

平成28年新春に思う

**神戸支部長
安藤嗣彦（学20期）**

新年明けましておめでとうございます。本年も、会員の皆様方に、幸多き事を祈念いたします。

さて、昨年の国内の一番嬉しいニュースは、何と言っても、2022年度の夏季オリンピックの東京での開催決定です。元ニュースキャスター滝川クリスティさんのおもてなしは流行語になりました。しかしながら、決定早々、新国立競技場の建設やエンブレムの盗作騒ぎで、せっかくのお祝い気分にも、水をさされた感は否めません。振り返ってみれば、前回の東京オリンピック（昭和39年）の時、当時、私はまだ浪人生で、翌年の昭和40年に、教養部一回生として大阪医科大学に入学した頃です。日本は高度成長期の真ただ中、国立競技場どころか、オリンピックに間に合わせるべき、新幹線の建設にも取り組み、完成させる勢いでいた。又、現在のような情報社会でもなく、エンブレムの盗作などあり得ない時代でした。改めて、この約50年間の間ににおける日本の経済状態の変化、情報関連産業の凄まじい進歩に加え、オリンピックに対する、国民感情の変化が

垣間みられます。前回オリンピックのエンブレムは、今見ても、簡素であり、親しみが持てます。巷では、三波春夫の東京オリンピック音頭の歌が溢れ、国民が一丸となって、オリンピックを歓迎し、成功しようとする意気込みを感じました。この当時、現在の肥大化、商業化したオリンピックではなく、「参加する事に意義のある」スポーツ大会とのイメージの強い時代でもありました。参加国、競技種目も今より格段と少なかった時代ではありますが、16個の金メダルは、立派だと思いました。裸足のアベベも話題となりました。敗戦後の打ちひしがれた国民感情を奮い立たせ、國の復興を世界に知らしめた大会になったと思いました。今回の大会も、全国民が快く協力できる体制の構築が望まれます。恐らく、私が生きている間の国内での最後の夏期オリンピックとなるでしょう。その頃、大阪医科大学では、手術棟は実働し、現病棟は取り壊され、高層の病棟、管理棟の工事が始まっているかもしれません。母校が、日本でも注目される私立医科大学に成長する事を願うのは、同窓生私一人だけの願いではありません。

新年のご挨拶

**和歌山県支部長
古田浩太郎（学14期）**

2016年 明けましておめでとうございます。皆様、御元気でしょうか？

「人生において、大切なのは人生そのもの。結果ではない」ゲーテ。

「人生 80 才を越えると“まさか”という坂が待っている。人生とは“覚醒に費やした時間と睡眠に費やした時間の和である”文明は睡眠に費やす時間を安らかにしてくれたが、私達の覚醒に費やす時間はなかなか安らかにならない」内山 覚教授。

今年もまた、皆様にとりまして佳い年であります様、祈ります。 和歌山の田舎より。

出雲へようこそ

**島根県支部長
中島徹（学25期）**

「年の始めの例とて 終なき世のめでたさを松竹たてて門ごとに 祝う今日こそ楽しけれ」

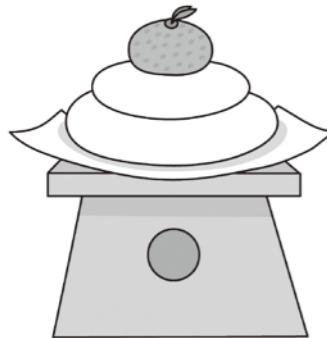
『一月一日』というこの歌詞は、出雲大社第79代国造千家尊福氏によるが、彼を高祖父に持つ出雲大社権宮司千家国磨氏が、一昨年秋、高円宮典子様と御結婚以降、出雲の神による縁結びの増加により出生率が増加しているのは誠に喜ばしい限りである。

ところで皆さん、医療と看護のルーツは出雲にある、と聞いたことはありませんか？これは島大小林祥泰前学長が、白兎の話に眼を向け提唱されており「大きな袋を肩にかけ、大黒様が来かかると、そこに因幡の白兎 皮をむかれて赤裸。大黒様の言うとおり きれいな水で身を洗い 蒲の穂綿にくるまれば 兔は元の白兎」蒲の花粉には傷口や火傷に対し治療効果があるといわれており、この事から大国主命（大黒様）が医療の神様のルーツと言われる理由である。さて、出雲から因幡の八上比売にプロポーズに行った兄たちの八十神は皆嫌われ、荷物運びの大國主命が好意を持たれた事に嫉妬して、帰る途中で策略をもって焼けた転がりくる大岩を抱き止めさせ、その結果焼死した大國主命を助けるべく、母神の依頼で、さき貝（赤貝）比売、うむ貝（蛤）比売の親娘の女神がつかわされ、赤貝の殻を粉にして蛤の汁で溶かして全身に塗るとよみがえったとのことである。これは、キトサンを使う治療であり、看護師のルーツと言われ、出雲大社の本殿の右側の、正妻である須勢理比売の祭られている御向社の外側の、天前社に二人の女神が祭られている。大国主命は女

神達に好意を持たれるタイプだったようだ。この様に島根県でも古代から出雲部は医療、看護は比較的良好であったようだが、一方今現代においても、県西部をしめる石見部の医療の現状は深刻であり、ここで選挙区をみなおし、参議院選挙区が因幡から石見まで一人になると都市部とは異なる問題が生じる。

古代出雲は豊葦原中津国といわれ、天照大御神の弟神の素戔鳴命の娘婿である国津神大國主命によってうまく治められてきた。そこを高天原から眺めた天照大御神は、あれは本来わが天津神が治めるべき所、として天穗日命等国譲りを求める複数の使者を送るも住みやすく帰国せず、ついに健御雷命という武闘派を送り国譲りを求めた所、大国主命は、自分は息子の考えに従う、息子たちに聞いてくれとのこと。長男の事代主命は譲ること、二男の武御方命は自分と勝負して勝利したら譲るとして、戦い敗北。国譲りの条件として立派な神殿を構えてくれることを挙げ、天津神方もそれを了承し、世話の為、天照大御神の第 2 子天穗日命の子孫を充てることとし、国譲りが成立した。国麿氏と典子様の結婚、60 年毎の遷宮もその流れであり、皇室も、大国主命から譲り受けた豊葦原中津国を国津神の治世下より悪くしないことを祈願しておられると思う。

最近の調査で松江市の住みやすさは全国一、その他の出雲郡の都市も上位にあった。「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」とまでは書いてないが、相手の良識を信頼し、国まで譲って神として敬われる大国主命の方法は、日本国憲法のルーツとも考えられる。



新春のご挨拶

岡山県支部長 小出尚志（学28期）

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

申年の今年、私ども仁泉会岡山支部では「新たなスタート」をきる節目の年となります。2 年前の前支部長の逮捕という不祥事を機に、岡山支部の活動は完全に停止しておりましたが、昨夏の活動再開の呼びかけに応じて有志が集まり、仁泉会本部のご支援を頂きながら会員名簿やメーリングリストの作成など、2016 年 1 月の支部会の開催に向けて準備をしてまいりました。1月末には、支部会を再開できる見通しとなりましたことをご報告申し上げます。

さて、お正月は初夢の話をしましょう。初夢で見ると縁起が良いとされるのは、一富士（いちふじ）二鷹（にたか）三茄子（さんなすび）。これに、四扇（しおうぎ）、五煙草（多波姑）（ごたばこ）、六座頭（ろくざとう）と続きます。富士と扇は末広がりで子孫や商売などの繁栄を、鷹と煙草の煙は上昇するので運気上昇を、茄子と座頭は毛がないので「怪我ない」と洒落て家内安全を願うとのうんちくです。

皆様は、もう、初夢を見られましたか？ 以下は、私の期待する初夢です。どうか一つでも正夢となりますように…。

1. 1月の仁泉会岡山支部会、溢れんばかりのたくさんの会員と来賓で大盛会
2. 28年度診療報酬改定、大幅プラス
3. 地域医療構想と地域包括ケアシステム、すべての医療機関が存続可能なソフトランディング
4. 消費税、医療は原則課税と控除対象外消費税（損税）の還付
5. 認知症特効薬「ボケナオル」とガン特効薬「ガンコロリ」、二大新薬の大ブレーク
6. うつ病特効薬「ヘコミタタキ」で自殺者大幅減少

7. 再生医療、臨床応用、最先端、世界中から患者が日本を目指す

8. 医療費の無駄使いにメス、医師・看護師転職紹介事業者を大幅規制

9. 人型ロボットが医療現場で大活躍、医療・介護職の人材不足を解消

10. 病院建築も大規模 3-D プリンター導入で超大幅コストダウン

おわりに、今年が、私たち仁泉会会員ならびに医療関係者にとって良い年になりますよう祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

香川県支部長 石田達也（学28期）

新年明けましておめでとうございます。香川県支部長の石田です。

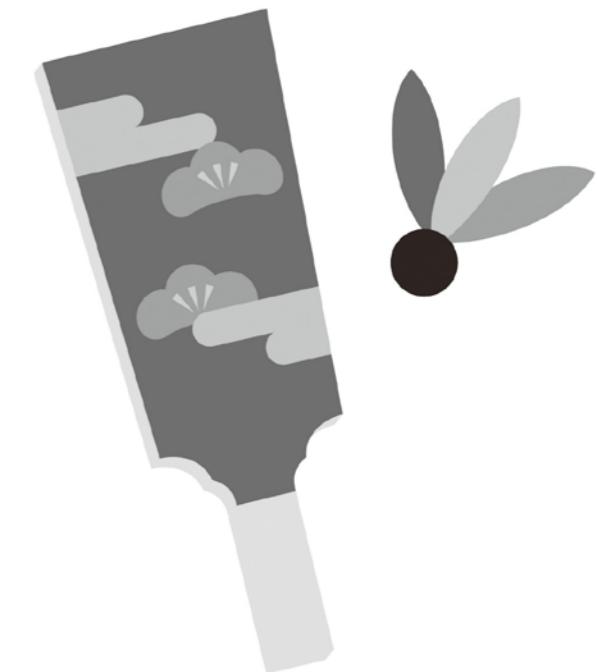
昨年は、3 月 7 日高松市におきまして、仁泉会四国地方合同懇談会が盛大に開催されました。大半の会員が高齢を離れて久しいこともあり、植木大学理事長や竹中學長から母校の現状と未来構想を聞かせていただき、隔世の感と凄まじい発展像に酔いしれる一時となりました。このような機会を与えていただきました河野理事長、安藤副理事長、小野理事、事務局の天野さんに厚く御礼申し上げます。また、日頃お会いする機会を失しております隣県の先生と、じっくりとお話をさせていただき、四国の中で頑張る同門の先生が身近に感じられました。とても有意義な出会いでした。四国には、都会にはない苦勞がありますが、今後、同門のネットワークで難局を乗り越えていくことが出来れば、と期待する次第です。

さて、香川県支部の状況ですが、会員数は 40 名弱。10 月末には、残念ながら中村信義先生（学17）が御逝去され、また寂しくなりました。

若い先生も少しずつ増えてきておりますが、全体的には伸び悩みといったところでしょうか。本県にお帰りになられる予定の先生は是非お声をかけていただきますようお願い致します。

地元のお正月に話題を移します。皆さん、香川のお雑煮をご存じでしょうか。白味噌にあんもち入りです。転勤族でいろいろな雑煮を体験してきた私ですが、さすがに初対面では驚きで固まってしまいました。砂糖が貴重だった時代にお正月くらいは贅沢に、との思いが込められているそうですが、やっぱりビックリしますよ。それと、近年、さぬきうどん協同組合が、来る年の太く長く続く幸せを願い「年明けうどん」をアピールしています。おそらくは、「年越し蕎麦」がヒントになっているのでしょうか。蕎麦は他の麺類よりも切れやすいことから「今年一年の災厄を断ち切る」という意味で食べるらしく、そのため新年に跨いで吃るのは縁起がわるいようです。さぬきうどんは、総じてコシが強く、噛み応え食べ応えがあり、噛むほどに元気な自身を感じ取ることができます。皆さんも是非ご来県いただき、ご賞味のうえ長寿を目指してみて下さい。「寝ても覚めてもうどん」県内でのキャッチフレーズです。

本年もよろしくお願い致します。



仁泉会愛媛県支部総会の 御報告

**愛媛県支部長
井関亮甫（学23期）**

仁泉会々員の皆様、新年おめでとうございます。新年にあたり皆様はいろいろの希望、事業計画等をお持ちのことと思います。鬼が泣くかも知れませんが、今回私は昨年の支部総会について述べさせていただきます。

昨年 6 月、愛媛県支部例会において、私は金子 仁先生（学 15 期）から支部長をおおせつかりました。いまだ支部規約がなかったため、10 月の定例総会において承認をいただきました。



出席者名（敬称略）

住田達夫（学 14 期）金子仁（学 15 期）横山闡（学 15 期）西上英昭（学 18 期）井関亮甫（学 23 期）

佐藤晴瑞（学 28 期）細田欣也（学 44 期）

ご来賓 安藤嗣彦先生（学 20 期）竹中 洋先生（学 23 期）

その際、御無理を願い、仁泉会副会長・安藤嗣彦先生（学 20 期）と前学長・竹中 洋先生（学 23 期）に来松いただき、仁泉会並びに大阪医大の現況と将来像、これから課題等について、お話をうかがい、楽しく会食に移りました。参加者名と写真を掲載致します。

愛媛県支部の現況は会員数 33 名ですが、若い先生方の卒後の帰松が少なく、さびしい思いをしています。愛媛大学医学部も充実してきましたので卒後研修、並びに生涯教育の場として利用され、一人でも多くの先生方の帰参を希望しています。

新しい年にあたり、会員の皆様の御活躍を祈念しております。

新春のご挨拶

**高知県支部長
浜脇弘暉（学 11 期）**

明けましておめでとうございます。

先ず、高知県支部として記念すべき出来事として、平成 27 年 1 月 30 日、尾崎・高知県知事と竹中・大阪医科大学学長との間で、寄付講座の契約が高知県庁において行われました（大阪医科大学報 101 号参照）。大学関係者に心から感謝申し上げますと共に、一卒業生として本当に嬉しい年でした。

また、平成 27 年 3 月 7 日には大阪医科大学仁泉会四国地方合同懇話会が高松市で開催され、植木理事長・竹中学長から大阪医科大学の素晴らしい発展・進化を実感できるお話を頂き、感銘を受けました。

現在、高知県支部の会員数は 38 名、物故会員が 25 名、近年、高知県からの大学入学者も激減していまして、危機感を抱いております。ある意味では、それほど大学のレベルがアップしたとも云えますが、痛し痒しの感もございます。ただ高知県内の私立大学の卒業生数は未だ大阪医科大学が第一位である点は強調したいと存じます。

毎年、途絶えることなく、1 月には会員が一堂に会し、総会を開いており、連帯感も半端な

ものではありません。何とか高知県の医師を目指す若者達の教育レベルの向上と大阪医科大学への入学生増加に期待するところ大でございます。

少し高知県の周産期医療に触れさせて頂きます。産科医師数が全国最少と云う厳しい環境の中で、高知県周産期医療協議会を中心に、機能分担と連携の確固たるシステムを構築して対応しております。ただ各機能別施設における若い世代の産科医師の占める割合を見ると、高知県は比較的高く、日産婦学会・医会の調査で、10 年先も、この数は確保できるであろうとの推測が為され、先ずは数の維持・増加と若者を産科に引き込むべき諸策を模索しています。大阪医科大学と高知県の間で寄付講座契約が締結された良き機会でもあり、今後とも大阪医科大学と更に親密な連携を取りつつ、高知県の医療、特に周産期医療の維持・発展を模索して参りたいと考えています。大阪医科大学の産科婦人科学教室は、大道教授の素晴らしいお人柄と学術面での大活躍で、近畿地方で入局者数が飛び抜けて多いと伺います。この機会に、大阪医科大学の産科・婦人科学教室の高知県に対するご支援も頂けたらと心から思っているところでございます。

大阪医科大学の益々のご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を祈念して、新春のご挨拶に代えさせて頂きます。

**謹賀新年
2016**

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

仁泉会会員様のご健勝とご多幸を祈念しております。

仁泉会役員一同



気になるあの場所・あの人に 編集部がジャストミート！

母校と同じヴォーリズ建築を訪ねてみる
広岡浅子氏で話題の大同生命本社ビルを直撃！

国の登録有形文化財にもなっている母校の「歴史資料館」を設計したウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏。氏が母校とほぼ同時期に設計したビルを一部復元した「大同生命本社ビル」に今回はジャストミート。NHK 朝の連続テレビ小説「あさが来た」でも話題の広岡浅子氏が創業した同社にお邪魔しました。(本文中敬称略)



大阪医科大学歴史資料館



大同生命本社ビル メモリアルホール

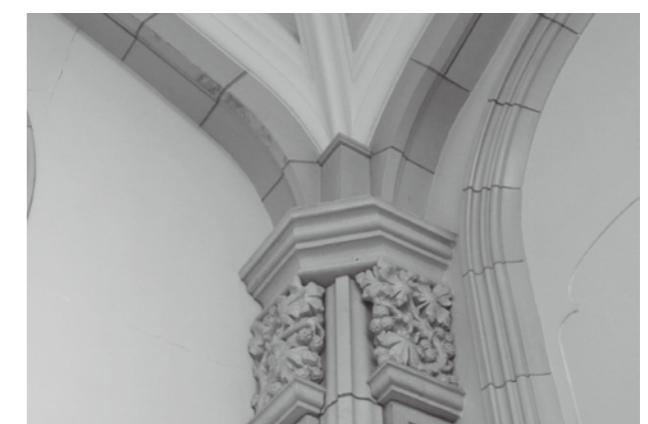
大阪
医大

明治 41 年にアメリカで生まれたヴォーリズ。英語教師として来日後、京都で建築設計事務所を設立し、以来日本各地で数々の著名な西洋建築を手がけた建築家として知られています。氏が大阪医大の設計に携わり完成したのが昭和 5 年のこと。その 5 年前の大正 14 年に、今回お邪魔した大同生命大阪本社ビルの旧社屋が完成しています。

大同生命が「大同生命保険株式会社」として設立されたのは明治 35 年のことですが、その母体は、江戸時代の大坂きっての豪商「加島屋」。その加島屋の第 8 代当主・廣岡久右衛門正饒の次男・廣岡信五郎の妻として、信五郎とともに加島屋を切り盛りしたのが、現在放送中の NHK 朝の連続テレビ小説「あさが来た」のヒロインのモデルになった広岡浅子です。

ちょうど取材にお伺いした 11 月後半頃の「あさが来た」では、ヒロインの「あさ」は九州の炭鉱にいます。明治維新の動乱によって傾きかけた加島屋を、信五郎と信五郎の弟で加島屋 9

建物のパーツを比較してみます

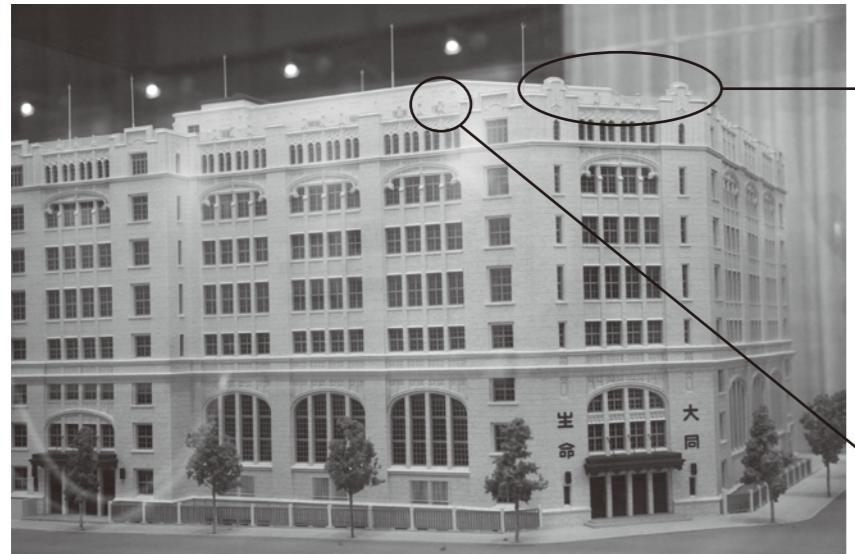
大同
生命

代目当主となった正秋とともに立て直しに奔走。炭鉱事業に乗り出し、自ら陣頭指揮を取るためにピストルを懷に忍ばせ炭鉱に入ったと言われています。その後、加島銀行、大同生命の設立に深く関わり、時代を代表する女性実業家として名を馳せていきます。信五郎の死後は事業から身を引き、日本女子大学校（現・日本女子大学）の設立や、婦人運動、女性教育に尽力しました。

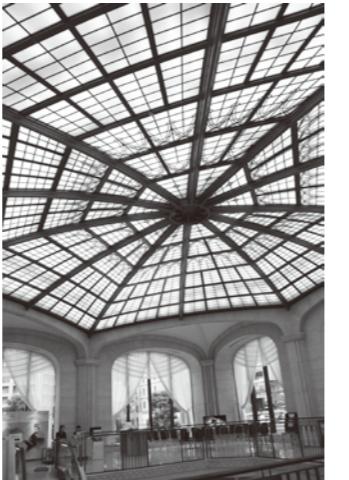
さて晩年、浅子の女婿・廣岡恵三の実妹である一柳満喜子が、廣岡家の設計の打ち合わせに来ていたヴォーリズと運命的な出会いを果たします。華族の令嬢が外国人との結婚などまかりならぬ、という周囲の反対をよそに、浅子は二人の結婚を後押し。浅子が亡くなった年に、二人は結婚します。

ヴォーリズが大阪医大をはじめとする大学建築を多く手がけたのは、もしかしたら浅子への恩返しなのかもしれません。

ヴォーリズの足跡が今なお残る



大同生命肥後橋ビル完成当時の模型

四ツ橋筋沿いにある駐車場
出口に移築したモニュメント肥後橋交差点にも移築された
ピナクル（飾り尖塔）が当時の加島銀行営業室
(「テラコッタの装い～大同生命肥後橋ビルの記録～」より)当時の営業室の天井を復元した
現社屋のエントランスホール

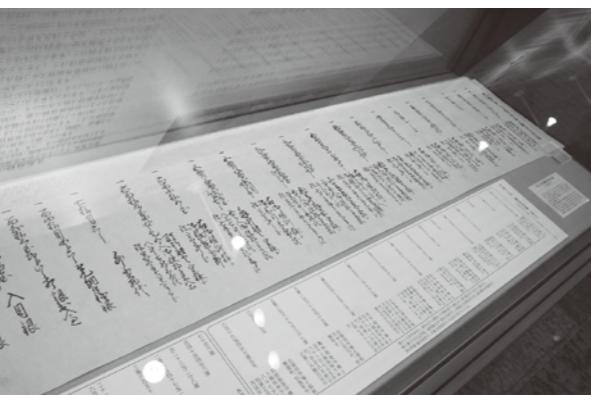
ヴォーリズが設計した大同生命肥後橋ビルが落成したのは、大正 14 年のこと。その後、昭和 47 年に本社機能を江坂の地に移してからしばらくは社屋として維持されていました。しかし「ゆかりの地」に本社を再び戻す計画がされ、ビルは一旦平成 2 年に解体。平成 5 年に現在の本社ビルは完成しました。

解体の際、できるだけ遺せる部分は遺したいという思いから、正面玄関上部の壁と、屋上にしつらえてあったピナクル（飾り尖塔）をそのまま保管し、現在のビルやビルの周辺に配しています。

さて、話は冒頭に戻り、大同生命肥後橋ビルが落成した大正 14 年。このころヴォーリズは

自身の代表作となる建築を数多く残しています。大阪医大（現歴史資料館）が昭和 5 年、「近代化産業遺産群」にも指定される関西学院大学が昭和 4 年、ヴォーリズ初の重要文化財に指定された神戸女学院大学が昭和 6 年にそれぞれ落成。ヴォーリズが結婚し「W・M・ヴォーリズ建築事務所」を設立したのが大正 9 年のことなので、もっとも脂が乗った時期だったと言えるでしょう。

朝ドラ人気に便乗して、また母校の優れた建築物と比較して楽しむなど、ぜひこの機会に訪れてみてはいかがでしょう。特別展示「大同生命の源流 “加島屋と廣岡浅子”」は平成 28 年 3 月まで開催しているそうです。

本誌前号で「ヴォーリズさんの輪発足のご案内」を
寄稿していただいた渡辺信治先生にもご同行いただきましたこちらの大理石も旧本社ビルから移築したもの
だそうです天明 2 年の勘定目録。加島屋の隆盛ぶりが
伺い知れる資料です廣岡浅子さんの写真。文章の 2 行目に同じく朝ドラ
ヒロインのモデルとなったの方の名前が。分かりますか？

渡辺信治先生（学 9 期）

この「ジャストミート」には、私にも声を掛けて頂き、大喜びで同行させて戴いた。これもヴォーリズさんとの御縁の賜物と感謝している。V さんと云えば、この所、急に「その歴史的な功績を日本の社会にも明らかにされるのでは？」と思える事柄が噴出している。私は「V 火山の噴火」と名付け、期待し、信じている。さて？



大同生命保険株式会社 大阪広報担当部長

塚田晴久さん

「本社ビル 2 階にあるメモリアルホールは、ヴォーリズさんが設計した旧本社ビルの雰囲気を限りなく忠実に復元しております。大阪医科大学様の建築物と比較してお楽しみください。また江戸時代隆盛を誇った加島屋の貴重な資料も数多くございます。毎週月曜日は団体様のご予約もお受けしております」

大阪市西区江戸堀 1-2-1

開館時間／10:00～19:00（土日祝は～

16:00）休館日／月曜（団体予約のみ受付）

入館料／無料 TEL／06-6447-6111

受章・受賞報告

下記の先生方の受章・受賞が判明いたしました。母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

平成 27 年秋の叙勲
旭日双光章
今橋経任先生（学 3 期）
瑞宝双光章
入江輝夫先生（学 5 期）

日本医師会最高優功賞
金澤豊純先生（学 6 期）



濱脇弘暉先生（学 11 期）よりお寄せ
いただきました 2015 年 11 月 3 日付
高知新聞掲載の今橋経任先生の記事を
ご紹介いたします。

旭日双光章
元県医師会理事
いまはし つねとう
今橋 経任さん(88)



女性の健康見守り 60 年



「産婦人科を志す若手が増えたから」と話す
今橋経任さん（高知市桜橋通 2丁目）

年、女性たちの健康と命を
見守り続けてきた。「受章は
とても光栄です」。長い顎ひ
げをたくわえた顔をほころ
ばせる。
須崎市出身。病院勤務を
経て 1961 年に高知市内
で開業した。医院は既にた
たんだが、88 歳の今も週 1
回ほど婦人科検診に携わ
る。「県内の子宮がん検診受
診率は上がってきたとはい
え、30 歳、40 歳にもっと受け
てもらいたいですね」と笑う。
県総合保健協会役員など
として検診車を県内に巡ら
（小川一路）

表彰状
金澤豊純殿
あだなは水平におり地域における
保健及び医療の向上努力が認められ
ました。検査場所へ多く来られた
されましたが、その功績は高く評価
されております。日本医師会は最高優功賞
贈りその功績を嘉賞いたします。
平成 27 年 11 月 1 日
公表開業日本医師会
表彰状

各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛書面、新聞などをお送りください。本誌にて広く紹介させていただきます。

学会報告

第 28 回日本口腔・咽頭科学会総会 ならびに学術講演会を開催して

文責／萩森伸一（学 38 期）

平成 27 年 9 月 10 日（木）、11 日（金）の両日、第 28 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会を、河田了会長（耳鼻咽喉科学教授、学 33 期）のもと大阪市のホテル阪神にて開催いたしました。本学会は当教室との縁が深く、前身の日本扁桃研究会を昭和 45 年に武田一雄名誉教授が、平成 3 年に高橋宏明名誉教授が主催されています。お陰様で多数の先生方の参加を得て、成功裡に終了いたしました。改めまして深謝申し上げます。

口腔・咽頭領域は、耳や鼻と比べると比較的容易に観察でき、さらに最近では従来の額帶鏡に代わる器機が普及してきました。元々観察し難い部位を専門としてきた耳鼻咽喉科の領域が器機の進歩によって他科医師にも容易に診察できるようになり、本領域における耳鼻科医としての専門性を今一度考える必要性に迫られています。また具体的には歯科・口腔外科との境界について、また今後増加が予想される総合診療科との差別化があります。その解決策として専門性をより高めることが

何より求められます。手術に加え、耳鼻咽喉科医にしかできない領域を追求するためにも、幅広くかつ深い知識が要求されます。

演題登録の正規締切日では 10 題程度しか集まらず、冷や汗を通り越して青ざめてしましましたが、幸い 160 題近い一般講演の演題のご登録を頂きました。またそれ 2 つの特別講演、シンポジウム、教育講演に加え、教育パネル、臨床ミニセミナーを企画し、当教室のメインテーマである唾液腺腫瘍はもちろん睡眠時無呼吸、扁桃炎、咽頭癌の経口切除など、明日の診療から役に立つものから今後の研究の Seeds になるものまで広く取り上げてみました。学会開催週の月曜日に突然南の海上に台風が発生し、開催前日には東海地方に上陸、強い雨に見舞われましたが、幸い学会当日は天候に恵まれ、結果的には事なきを得ました。お陰様で 2 日間で 800 名以上の、本学会としては過去最高の参加者数を記録し、実り多い学会との声を聞くにつけ、ホッとしております。仁泉会の方々には学会開催に際し多大なるご援助・ご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。



第 28 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会



支部だより●●●

仁泉会福井県支部だより

文責／原 隆（学47期）

仁泉会福井県支部総会が平成27年11月14日（土）に開催されました。今回で第27回になります総会が行われた場所は、福井市にある「開花亭」という料亭です。昨年と同じ場所で福井県では非常に有名な料亭です。本会は毎年ほぼ11月頃の開催となっています。当日は例年より少し少なめの7名の同窓諸兄姉の参加がありました。

昨年の総会から福井県支部の会長、幹事が交代となり、会長は安井多喜雄先生（学23期）、幹事は私、原 隆（学47期）となっております。まず昨年の収支報告など一般的な報告をさせていただきました。先生方からの積極的な発言などをいただき、とても充実した会になりました。報告が終わって写真撮影が行われました。



定です。次回は新しい福井県在住、在職の先生方の参加も心よりお待ちしております。今後も開催させていただいた折にはご報告させていただきます。なお、当日の参加者は以下のとおりです（敬称略）。

西野慎吾（学11期）
青山文代（学21期）
安井多喜雄（学23期）
加藤佳典（学24期）
片山外一（学25期）
松本順雄（学34期）
原 隆（学47期）

次はいよいよ宴会です。今年も昨年同様解禁になったばかりの越前ガニづくしの料理コースとさせていただきました。次から次へと出てくるカニ料理に舌つづみを打ちながら会話も弾み、あっという間に時間が経ってしまいました。幹事はしっかりしていなくても、諸先生方が引っ張ってくださり充実した総会となりました。

ちなみに今年から越前ガニに新しい「極」（きわみ）という最上級ブランドが登場しました。冬の味覚の王者と言われる越前ガニの中でも厳選された王者中の王者であるこの「極」は厳しい基準があります。重さ1.3kg以上、甲羅の幅14.5cm以上かつ爪の幅が3cm以上の越前ガニとなっています。全体の水揚げ量の0.5%以下、1シーズンに500匹程度しか捕れず非常に貴重なものとなっております。もちろん食べたことはありませんが、話によると非常に食べごたえがあって格別なカニとのことです。福井県にお越しの際は是非ご賞味ください。

来年（H28年）も同時期に開催される予

支部だより●●●

仁泉会阿倍野支部総会と懇親会の報告

文責／福本敏子（学24期）

平成27年10月31日（土）シェラトン都ホテル大阪『伊勢の間』にて、本年度の仁泉会阿倍野支部総会を開催しました。総会、大阪鉄道病院からの話題提供、ミニコンサート、懇親会と昨年同様の進行となりました。

総会では、最長老の藤本正三先生が体調不良で欠席されたので、学10期の高木力先生が開会の挨拶に立たれ「昨年は10年ぶりの総会であったが、今年は予定通り1年後に開催され、このように多くの同窓の先生が集えたのは大変喜ばしい事である。今後も大阪医大同窓の絆をさらに、強固なものにし、病診連携、診療連携を図っていただきたい。」と挨拶され、その後、総会の議事に移りました。報告事項として伊賀千洋先生（学29期）からの会計報告ならびに学46期の坂田勝則先生の入会報告をしました。阿倍野医師会からの報告として阿倍野区医師会副会長の岡茂樹先生（学35期）が阿倍野区医師会の現状や審査委員を長くされている立場から保険審査についての話題をお話しくださいました。協議事項としては、今後の阿倍野支部の活動について協議し、次年度は例年通り10月に総会を開催する事になりました。

大阪鉄道病院からは、坂井昌弘先生（学43期）が『子宮筋腫・子宮内膜症の取り扱いについて』と題し、日頃取り組んでおられる最新の治療について多くの映像を交え詳細に解説してくださいました。仁泉会総会は専門科以外の講演を拝聴する貴重な機

会であり、治療の進歩を興味深く聞かせていただきました。

次に懇親会に移りましたが、大阪鉄道病院の前田隆義先生（学27期）が乾杯のご発声に立たれ、「同窓の絆をより強固にし、病診連携、診療連携を進めていきましょう。」と述べられました。乾杯の後、二村吉継先生（学49期）とギタリストの下茅良様のギターユニット『Nimu&Ryo』のミニコンサートを楽しみました。耳鼻咽喉科医の二村先生とプロギタリストのお二人は医学ロックという新たなジャンルに取り組み医療をテーマにした楽曲で活躍されていますが、パロディーのような楽しい歌詞に会場中、大いに盛り上がりました。コンサートの後は、シェラトン都ホテル大阪ご自慢の和洋折衷料理を召し上がっていただきました。参加の先生には近況報告をしていただきましたが、皆様それぞれに頑張っておられる様子に、仁泉会阿倍野支部として、ますます連携強化を図っていきたいという思いを強くいたしました。学年も専門科も違う集まりですが、あちこちで話しの輪ができ、同窓の絆の大切さを実感いたしました。

阿倍野区には在住の方を含めると、約100名近くの仁泉会員がおられますので、また、阿倍野区仁泉会総会・懇親会に参加希望の方は、ご一報ください。





参加者（敬称略）

高木 力（学 10 期）福本敏子（学 24 期）前田隆義（学 27 期）伊賀千洋（学 29 期）横田博志（学 30 期）中野晋吾（学 34 期）岡 成樹（学 35 期）江村成就（学 39 期）成山 仁（学 39 期）湊 恵美（学 41 期）坂井昌弘（学 43 期）二村吉継（学 49 期）宮本裕之（学 51 期）中谷絵里（学 55 期）岡本祐典（学 56 期）

大阪医大女医会のご案内

新年あけましておめでとうございます。

大阪医大女医会の先生方におかれましては、お元気にご活躍のことと存じ上げます。

さて、平成 28 年度の例会を下記の通り開催致します。

今回は、平松昌子先生（学 33 期）がご講演下さいます。

ご多忙とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）午後 6 時 30 分より

場所：ホテルグランヴィア大阪 20 階 「名庭の間」

会費：20,000 円

担当幹事 学 32 期 寺崎由香 丸川恭子、学 33 期 辻口比登美

支部だより ● ● ●

平成 27 年度仁泉会住吉・住之江支部総会および懇親会の報告

文責／霜野良一（学 28 期）

平成 27 年 10 月 18 日（土）上記の会を大阪駅前第一ビルの「神仙閣」にて午後 6 時より 13 名の参加にて行いました。総会は、今年亡くなられた山崎秀夫先生（高 11 期）に黙祷を捧げた後、私 霜野良一（学 28 期 支部長）より大槻教授が新学長になられたこと、ホウ素中性子捕捉療法の施設が大学内に誘致されること、大阪薬科大学との合併、三島南病院の開院、医師国家試験の成績や大阪府連支部長会の報告後、李 鐘甲先生（学 31 期）から会計報告をして頂きました。特に質疑応答はなく、6 時 30 分より宮井元伸先生（学 23 期）の乾杯の発声で懇親会が始まりました。7 時半頃記念写真を撮り、皆おいしい中華料理とお酒が進む

うちに、次第に会は盛り上がり病診連携や各自の近況、今後の支部会のあり方などについてなどいろいろな話が飛び交い、先生方の話はつきませんでしたが、9 時 30 分にお開きとなりました。

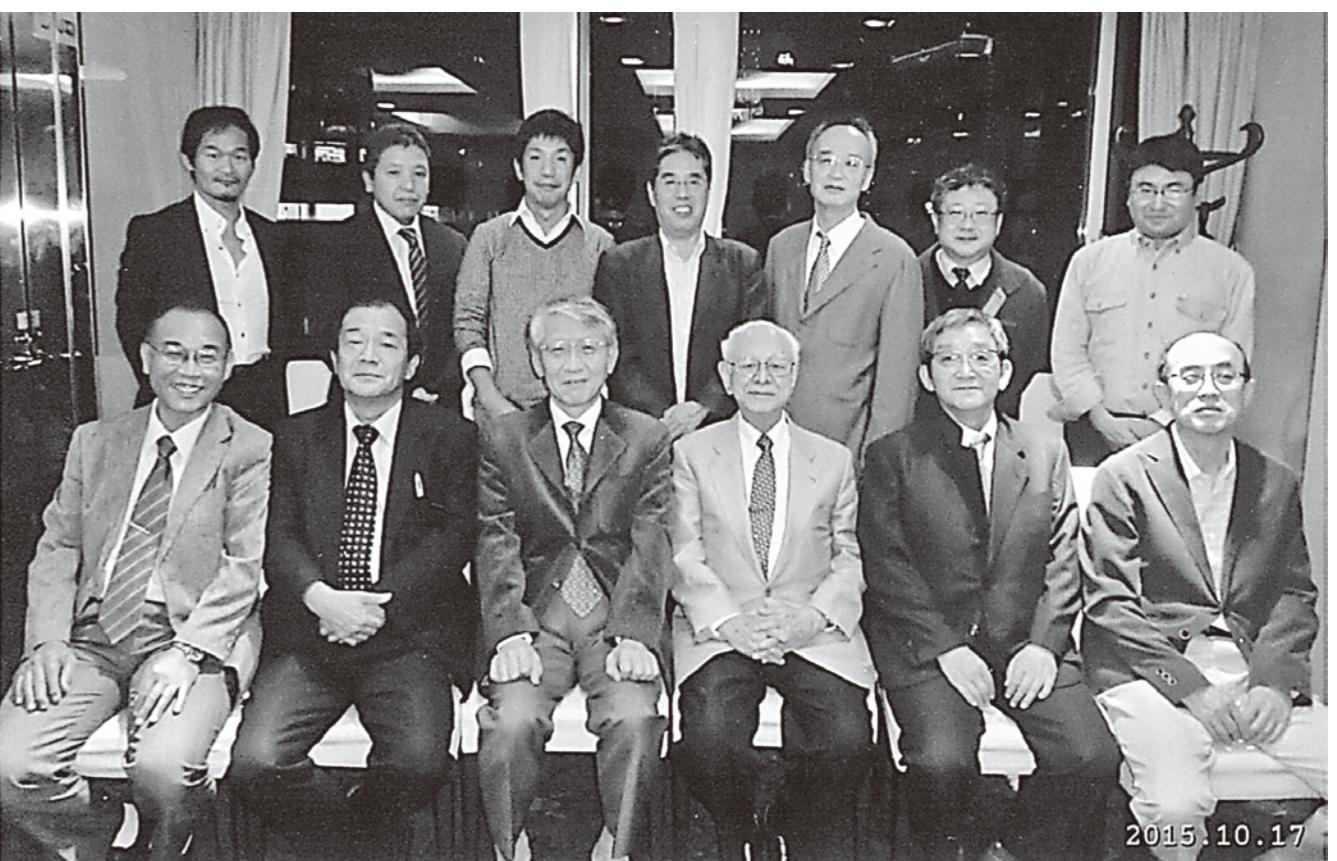
また、住吉・住之江区で開業・勤務されている先生方で、本会の連絡が届いていない場合は、霜野の方までご連絡いただければ幸いと存じます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

連絡先

〒558-0042 住吉区殿辻 1-7-22 霜野医院
TEL・FAX 06-4700-9058

当日の出席者は以下の通りであります。
(敬称略)

大野直樹（学 2 期）宮井元伸（学 23 期）
木村 嗣（学 24 期）宮越一穂（学 25 期）
板橋 司（学 27 期）霜野良一（学 28 期）
李 鐘甲（学 31 期）岩垣明隆（学 34 期）
村上康弘（学 34 期）大久保知之（学 35 期）
松田茂樹（学 41 期）濱崎憲夫（学 42 期）
竹安一郎（学 43 期）



支部だより●●●

平成 27 年度仁泉会神戸支部 総会報告

文責／増井裕嗣（学 29 期）

平成 27 年 6 月 20 日（土）、神戸ポートピアホテルエメラルドの間に於きまして今年度仁泉会神戸支部総会を開きました。総会に先立ち、仁泉会兵庫県支部連合会支部長会が行われました。日下孝明連合会会长の挨拶、各支部代表の活動報告、石原一秀先生の会計報告があり、会費徴収の件・名簿作成の件を討議しました。また支部長会を年 1 回開催することが決まりました。

支部長会に続き、神戸支部総会を午後 5 時 30 分より開催。昨年度ご逝去されました植木喬先生（高 15 期、三田市）、神前博文先生（学 5 期、長田区）、山崎良磨先生（学 5 期、垂水区）、富永晉先生（学 10 期、三田市）、中堀秀雄先生（学 11 期、三木市）の御靈に黙祷を捧げた後、安藤会長の挨拶がありました。今回はご来賓がおりませんでしたので、会長自ら母校および仁泉会本部の現状について詳しく説明されました。

その後お祝い事の披露…米寿の萩本威先生、喜寿の藤原弘久先生、新規開業の西口文先生（東灘区、眼科）、子弟医学部入学の増井、岡林孝直先生、井尻慎一郎先生、田中康孝先生、中本博士先生、中村雅宏先生、西本昌義先生…があり、内出席者に安藤会長から金一封が授与されました。

増井から昨年度の支部活動について、1. 仁泉会兵庫県支部長会が平成 26 年 9 月 6 日に開かれ、新会長に日下孝明先生が決定。2. 平成 26 年 11 月 20 日にシーサイドホテル舞子ヴィラ神戸で第 3 回神戸西医療フォーラムが開催され、主に神戸西地区の仁泉会

会員が 21 名参加。講演は神戸大学消化器内科特務教授 梅垣英次先生（学 35 期）による「NSAID・LDA による消化管障害の実際と対策」。3. 三宮のイタリアンレストラン「グローブガーデンナーノ」で新年会。参加者 34 名。4. 今年度から各地区世話人の一部変更などの報告がありました。

議長の藤原弘久先生の議事進行で、米田豊先生の会計報告（後掲）、佐々木義信先生の監事報告、安藤会長の事業報告があり、無事承認されました。

特別講演では母校教育センター専門教授の中野隆史先生による「院内感染について」を拝聴しました。「事例から学ばない!? 原理・原則から学ぶ院内感染対策」という副題が付いておりまして、聴衆に考えさせる（睡魔を生じさせない）内容で、特に「院内感染はコストを賭けてもゼロにはならない。コスト意識を持った、感染防止でない感染制御という考え方方が大切である。」というコメントが印象的なご講演でした。微生物学教室同門の森松伸一先生（神戸常盤大学保健科学部教授）の軽妙な司会で多数の質問がありましたが、少々の時間超過で



中野隆史先生による特別講演

講師

無事終了することができました。なお本講演会は大森英夫先生（兵庫県医師会理事）のご尽力で、参加者に医療安全講習会参加証が配られました。

飯塚信行副会長の案内によるホテル大階段での集合写真撮影後、中本先生の司会で懇親会に移り、何時もながらの和気藹藹とした心地よい時間が過ぎました。各々スピーチを存分にした後、神戸支部総会では



出席者名（敬称略）／中野隆史（大阪医大専門教授、学 38 期） 大森英夫（尼崎伊丹支部長、学 25 期） 岩下敬正（西宮副支部長、学 36 期） 辰井光（宝塚支部長、学 32 期） 土肥恒夫（川西支部長、学 28 期） 岡村信介（姫路支部長、学 23 期）

神戸支部出席者／宮本一（学 8 期） 渡辺信治（学 9 期） 江原英彦（学 11 期） 藤原弘久（学 13 期） 福永晶（学 14 期） 谷尻仁（学 15 期） 日下孝明（学 16 期） 佐々木義信（学 16 期） 関島昌信（学 16 期） 横山光昭（学 19 期） 安藤嗣彦（学 20 期） 西田靖彦（学 22 期） 森義孝（学 22 期） 石原一秀（学 23 期） 寺師克洋（学 23 期） 飯塚信行（学 24 期） 高矢康幸（学 26 期） 植坂俊郎（学 27 期） 橋本寛（学 27 期） 小高正裕（学 28 期） 浪方典宏（学 29 期） 増井裕嗣（学 29 期） 森松伸一（学 29 期） 岡林孝直（学 30 期） 高井豊（学 30 期） 米田豊（学 30 期） 井尻慎一郎（学 31 期） 岡本恭行（学 32 期） 相馬葉子（学 38 期） 和田賢三（学 38 期） 中本博士（学 39 期） 吉本明弘（学 44 期） 鄭充康（学 47 期） 藤田能久（学 47 期） 西口文（学 49 期） 常深聰一郎（学 50 期） 以上 42 名

久しぶりの学歌斎唱を行い、西田副会長の閉会の辞で中締めとなりました。

お詫び

本記事掲載が遅れました事、
増井裕嗣先生並びに、神戸支部会員の
皆様に、深くお詫び申し上げます。

事務局 編集係

平成 26 年度 仁泉会神戸支部 会計報告

H.26.4.1 ~ H.27.3.31

収入		支出	
繰入金	4,983,054	仁泉会（兵庫県支部連合）同窓会費	88,000
預金残高	4,897,837	平成 26 年度 (1,000 円 × 88 名)	
小口現金	85,217	仁泉会（本部）同窓会費	830,000
会費収入	1,622,000	(10,000 円 × 83 名)	
(19,000 円 × 83 名)	1,577,000	総会 (H26.6.21)	372,265
(9,000 円 × 5 名)	45,000	神戸ポートピアホテル支払	352,265
総会会費	119,000	車代	20,000
(5,000 円 × 21 名 + 2,000 円 × 7 名)		新年会 (H27.1.24)	287,640
仁泉会本部協賛金	30,000	ナーノ、マジカル支払	287,640
新年会費	134,000	慶弔費	83,560
(5,000 円 × 24 名 + 2,000 円 × 7 名)		通信費	34,328
雑収入	13,985	会議費	9,400
銀行利息	835	雑費	1,555
仁泉会本部会費徴収手数料	12,150	平成 26 年度繰越金	5,195,291
(150 円 × 83 名)		預金残高	5,265,390
預り金	1,000	小口現金	-70,099
合計	6,902,039	合計	6,902,039

平成 27 年 6 月 12 日 監事 佐々木義信 ㊞
監事 日下孝明 ㊞

仁泉会神戸支部ゴルフコンペ報告

文責／増井裕嗣（学 29 期）

神戸支部総会の翌日、恒例のゴルフコンペをセンチュリー吉川ゴルフ倶楽部で行いました。

優勝は 2 年連続で中本先生（グロス 77、HDCP7.2、ネット 69.8）で、準優勝は日下先生、3 位谷尻先生でした。安藤会長、今年もこの日の為だけゴルフをされ、本当にお疲れ様でした。その他の参加者は福永先生、藤原先生、増井で計 7 名でした。

平成 27 年 6 月 21 日



クラス会だより

八起会（学 8 期 クラス会）

文責／佐々木進次郎（学 8 期）

恒例の八起会（昭和 34 年卒クラス会）が平成 27 年 11 月 14 日（土）地元高槻の花の里温泉「山水館」で開催された。

八起会は会員の生存率が高く、このことが会の自慢でもあるが、高槻在住の会員に限ると、残念ながら 6 名中 4 名が他界しており、残っているのは今回の幹事である野沢君と佐々木の二人だけである。

高槻で開催する時は、いつもまず大学及び附属施設の見学を行っていたが、前回以後新設されたためほしい設備や施設はないので、今回は見学は省いた。

午後 6 時、宴会に先立ち今年 2 月に亡くなっ

た岡田 宏君の靈に黙祷を捧げた。次いで、殆ど毎回クラス会に出席してくれている江村君の乾杯の音頭で宴会に入った。少しアルコールが入ったところで全員の近況報告となった。何分皆が傘壽を超えた後期高齢者ばかり、話題がどうも自分の病気のことになりやすいのはやむを得ないだろう。幸い、一人として廃業をしたものはなく、何らかの形で現役を続けているのは同慶の至りである。佐々木は近況報告のあと母校の現況（完成間近い手術棟、大阪医大三島南病院、大阪薬科大学との法人合併、計画中の BNCT など、学報を見ればわかる）にふれた。

2 時間半が瞬く間に過ぎた。名残は尽きなかつたが、来年奈良（幹事 枝岡君）での再会を約束し、午後 8 時 30 分お開きとなった。

今回のクラス会開催に当たり、案内の発送や出欠の確認などにつき、仁泉会事務局にお手伝い頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。



クラス会参加者

後列左から 田橋賢士、枝岡 進、江村正信、野沢真澄、藤田義昭

前列左から 宮本一、佐々木進次郎、町塚 昭、茂山虎雄、西川雄之助（以上 10 名）

クラス会だより

珊瑚会の記

文責／大隈義彦（学9期）

平成 27 年 10 月 17 日、渡辺信治君の世話を庭のきれいな、ホテルオークラ神戸「山里」において開催しました。

発会後、幹事から動議されたことがあります。「過去に徴収した会費の繰り越し金が数百万円残留している。今迄は、これを慶弔費に当てて来たが、会員高齢化に伴い情報伝達も乏しく、この保では不公平が生ずる可能性も大きくなってきた。今後、内部保留金の有効活用を講じた方が良いのではないか。」との事でした。これに対し出席者全員、アンケートで会員の意見をとりまとめた上で、而るべき良策を実行しようと云う事になりました。

所で、話は変わりますが、歴史年表をみると、鎌倉末期、室町末期、と云う具合に何々末期と呼称されておりますが、これは後々の人が時代の終焉後、あの時期は末期に当たると云つただけで、その時に生きていた人達にとっては、自分がその中で暮らしていると云う意識はな



前列左より 大隈夫人、伊藤（憲）、伊藤（朗）、谷村

後列左より 大隈、入野、渡辺（信）、吉中、矢津 の各君

かったのではないでしょうか。

私達も後期高齢者としてまともに、社会生活を送っている積りですが、後輩の連中からは「彼等のやってることをみると、もう末期高齢者やなあ」と云われているのじゃないかと恐れています。

同窓会一つやるに就いても、出欠の返事をくれず、会当日にその葉書を持参して「出席や」とのたまうて、急遽、料理の追加をさせる輩。出席の返事を出しておきながら一向に現れず、電話をすると日を間違えて家に居る輩。どうも社会的適応能力が相当おちた集団となっている様です。それでも、出席出来るぐらいの身心の健康を保持し得ていることは神様に感謝せざるを得ません。

出席者は一人を除いて full time でなくとも何等かの仕事に従事しており、引退するより古くからの患者さんと話が出来ることや、孫の様な子供達を診察する慶びを話しておりました。しんどい時もあるが何等かの duty がある方が健康維持に役立つと考えておりました。

一方、引退した人の話も仲々含蓄のあるもので、終日、医療以外の用事にあけくれてはいるが、この世の中に、誰にも束縛されず、自由な時間を好きに使える幸せがあったんやと気付い

たとのことでした。

今回は欠席しておりましたが、誰かも云つておりました。医師会や医学関係の雑誌を開封せずにクズ籠にほり込む快感、誰にも遠慮せずに朝から酒を飲む背徳の欣びは何物にも代え難い！の言葉も仲々説得力がありました。

平成 27 年度 珊瑚会 会員有志 近況報告

谷村実一

何とか息子（週 3 回午後）に手伝わせて診療を続けています。何時迄老体に鞭打てるか心細い日々です。

中島基博

比較的元気に過ごしています。妻が本年 5 月 7 日に死亡、介護を含む生活に空白が生じましたが、日々農作業及びエムリッヒ細胞を基に分析、解析に過しています。ネズミの腹をかけて細胞の増殖を資料にしていますので、手がぬけません。

成山賢仁

お世話になってます。前回にもお願いしました通り、夜は外出できませんので欠席いたします。皆様によろしく!! 小生は元気で週 1 回はゴルフしています。補：昼食会で珊瑚会するようになれば連絡下さい。

蓑和田 武次

御苦勞様です。皆様によろしく御伝え下さい。高齢となりました。お互いに御身体を大切にしましょう。

宮島良夫

珊瑚会の皆さん御元気ですか。幹事の大隈、入野、渡辺信チャン、谷村実一、成山、矢津、吉中の各先生方、本当に御苦勞様です。おおきに感謝しております。お陰様で今の所元気でやっております。午前中に細々と仕事をし、午後になると草刈翁さんに変身しております。医師会のゴルフにも付き合っております。この夏は新潟にいる孫二人とその両親、女房も入れて、長野より新幹線に乗り金沢まで行き、山代温泉と和倉温泉にまで行つきました。酒もしっかり呑んだのである。GTP 大分あがりました。遠くにあって皆々様方のご健勝を祈っております。

麻生泰成

2 年程前から、父は病気のために歩行が困難となり、字を書くこともおぼつかなくなりました。同窓の皆様にお気にかけて頂きますことを嬉しく思う一方で、お返事の一筆も書けませんことをふがいなく思っております。しかしながら、親切なご近所さんやケアをして下さる方々に恵まれ、ここ但馬の地で非常に楽観的に暮らしております。(長女代筆)

上田眞道

皆さん、お変わりなくお過ごしと思います。私も術後 6 年目にはいりました。まだ生きておりますが、段々体力が無くなり、7 年余り神戸で過しましたが、魚釣りに行くこともなく、ただ何となくマンションで過している状態となり、8 月末で奈良へ帰ってきました。女房とボケ同志がボケを認め合って過しています。

加地啓甫

幹事役、御苦勞様です。10 月 17 日は地元医師会の会員旅行となっておりますので、今回の珊瑚会は欠席となります。皆様によろしくお伝え下さい。

鎌谷三夫

本年 2 月 23 日から 4 月 15 日まで姫路医療センターに入院しました。加療によりほぼ陰影消失、血液検査 CEA (入院時高値)、シフラーも正常となりました。現在、月・水・金午前中の診療を行つて居ります。

谷口博隆

病気療養の為、出席出来ませんので皆様によろしくお伝え下さい。

矢津和宏

いつのまにやら 80 才、いつの間にやらというのが実感です。多くの級友を失くし、年々淋しくなる感じがあります。小生は今でも午前中は診療に携わっています。ぼけ防止とも思ってませんが、結構楽しくやって居ります。

吉中英雄

引退して早 5 年半経過しましたが、毎日何やかやと仕事に追われ過して居ります。退屈する事はありません。家内が昨年骨折し、以後小生が出来る丈家事をする様になり、痛切に女房の有難さが分りました。今後も小生身体が動く限りは今の生活をつづけたく思います。皆様御身体に気をつけて元気に御過し下さい。

渡辺信治

先月の 8 月 22 日に満 80 才になりました。この日、近江八幡ではヴォリス学園の創立記念式典が、神戸メリケンパークでは関西最大級の盆踊りが、東灘教会では神戸フィルハーモニックのコンサートが、と多くの盛大なイベントを開催して戴きました。また、この半年程前からは、従来の日本社会には無かった現象が起ってきました。V さんの多くの功績の中の最大の事柄が、明かされ様としているのではと思われます。「V 火山の噴火」と名付けました。

渡辺義信

10 年前に病院を廃院しました。今は介護老人保健施設の施設長をしております。仕事はハードではないのですが、看取りが多く深夜に呼び出されることもあります。高血圧、糖尿病の他、5 年前に ope をしました。初期でしたので、再発、転移など全くなく元気にやっております。90 になる迄現役と心がけております。

大隈義彦

昨年は愚息 大隈和英が衆議院議員として高槻市から立候補致し、仁泉会の皆さんに絶大な御支援を頂いて当選致しました。深く感謝致します。この欄を借りて厚くお礼申し上げます。本人も高槻の健康と国の健康を守る為に挺身すると云っておりますので、今後共よろしく御支援お願い致します。

ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題
字数には制限は設けません。葉書 1 枚、便箋 1 枚でも結構です。
- 広告に関して
会員自身が出される広告は現在 100 字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。
(内容により有料の場合があります)

事務局編集係

クラス会だより**学13期同期会報告
「10月3日、4日、
39年卒南禅寺菊水に集う」**

文責／富士原 彰（学13期）

今回、京都組の桧垣、中部、田中の 3 氏の尽力で開催にこぎつけた。一昨年卒 50 周年開催後、2 年ぶりの再会である。

当初“紅葉の京都で”をコンセプトに開催を予定し奔走したが、当節の外国人の京都観光ブームで、会場・ホテルの確保が容易でなく、やむなくこの日になった。特に、宿泊確保が難しく、宿泊組は 2 か所に分かれた。

2015 年 10 月 3 日もみじの紅葉にはまだ早い。清水寺、祇園、平安神宮、伏見稻荷等 朱色の神社・仏閣は外国旅行にでも出かけているのかと錯覚するほど、数カ国言葉が飛び交う賑わいであるが、南禅寺界隈は比較的閑散としている。

毎回出席してくれる青森県南部からの小笠原君や石川県七尾市の岡田君はじめ、現会員 45 名中 25 名が久しぶりに顔をあわせた。出席者にはいろんな意味で介護を要する者が多くご夫人・御子様の付き添い 10 名と同期のまとめ役であった昨年亡くなった古賀君の奥さんが出席、会に花を添えてもらい、総勢 36 名となった。「おお、ひさしぶり！」、「おお、生きとったか？」変な挨拶が飛び交う。年をとり、頭、顔、体系（その多くが猫背、足元おぼつかず）に変化がみられるが、声のトーンは昔のまま、目をつぶり聴いていると誰か概ね推測できる。

桧垣君の開会宣言にはじまり、一昨年以降に亡くなった古賀教一郎、三田稔君を入れ同期の物故者 19 名全員の名前が読み上げられ、ご冥福を祈り黙とうした。

ライトアップされた美しい庭園をめでながら菊水自慢の京料理を堪能し、中部暉子さんの進行で、今回出席が叶わなかった新見君、田中（義

之）君、恒藤君らの近況報告や出席者それぞれの近況が披露された。

卒 52 年、うまく次世代にバトンタッチできず医療から手を引いた人、過疎地でただ一人の開業医となり、やめるにやめられない人、数件の介護施設を持ち、今なお精力的に活躍している人、自分の息子が後をついでくれるか不安をかかえながら、診療を続けている人、若いころにはあまり意識しなかった教育（今日行く）、教養（今日用）がこの年になって、どんなに大切であるかを実感している人、酒量が増えるにつれ、学生当時のような遠慮ない会話が飛び交い楽しい雰囲気で時間が経つのも忘れ、語り合った。

最後に亡き古賀君の後任として、藤本昭君を学 13 期仁泉会評議員に選出、次の開催を奈良の西浦君とすることを決め、閉会となった。明日の高台寺と建仁寺をめぐる京都観光を楽しみに、宿にもどるもの、二次会にいくもの、帰宅するもの、三々五々に菊水を後にした。

10 月 4 日、2 日目朝からやや曇り模様、南禅寺界隈早朝ほとんど人は歩いていない。藤本君とともに山門をくぐり、苔むす、もみじや松が植わった庭園をめでながら参道を散策した。実際にすがすがしい気分を味わった。9 時宿泊組 14 名はマイクロバスに乗り込み、いずれも南禅寺からそう遠くない東山地域にある高台寺、建仁寺に向かった。高台寺はご存じ、秀吉没後その菩提を弔うために奥方の北政所が開創し、これから行く建仁寺とは切っても切れない縁のある寺である。表門、開山堂、靈屋、傘亭、時雨亭などの重要文化財が存在するが、高齢者ばかりのグループは広い庭園散策に足元ふらつき、高所にある現存する傘亭、時雨亭に行きつけず寺をあとにし、京都最古の禅寺建仁寺に向う。建仁寺の開山は日本に禅をもたらし、中国から茶を持ち帰り、広めた栄西禅師で、御堂は中国のものを模して建立されている。其のためか知らぬが、中国語が聞こえてこない。必見は国宝である琳派の俵屋宗達の晩年の最高傑作とされている風神雷神図屏風である。残念ながら、展示

されているのは、高精細デジタル複製屏風である。広い境内みんな適当に休み休み、多くの重要な文化財の観賞もそこそこに、鴨川二条大橋西詰、昨年 2 月オープンしたザ・リツカールトン京都 和食水暉に移動し、昼食となった。味

噌と塩でいただく冷えた新鮮野菜のサラダは、食通の御仁の舌をうならすほど美味で印象に残った。美味しかった昼食の余韻を残し、今回の同期会を終了、2 年後の再会を約し、帰路に着いた。



行事案内

岡山県支部総会

平成 28 年 1 月 30 日（土）

天王寺区支部総会

平成 28 年 1 月 30 日（土）

滋賀県懇談会

平成 28 年 2 月 13 日（土）

午後 6 時から

場所／琵琶湖ホテル

九州地区懇談会

平成 28 年 3 月 19 日（土）

午後 6 時から

場所／タカクラホテル福岡

関東地区懇談会

平成 28 年 3 月 26 日（土）

午後 6 時から

場所／第一ホテル東京

クラス会だより

大阪医科大学学部 22 期卒業生 同窓会（48 会）報告

文責／麻田邦夫（学 22 期）

去る 10 月 3 日、大阪梅田 新阪急ホテルに於いて 2 年ぶりの同窓会が開催されました。出席者は、東は相模原市から三尾明彦君、西は佐賀市から坂田恒彦君をはじめ、計 43 名が来阪してくれました。



前列左から 舟木 中山 藤沢 麻田 清水 大庭 土居 富岡 石村

中列 坂田 丸尾 出口 傳 栗山 森田 佐野 三尾 大藪 山田 刈谷 櫸原

後列 前川 磯田 黒本 黒田 奥田 中尾 橋本 河村 木村 横山 西田 今井 村田 今川

第 89 回ゴルフ 48 会報告

文責／河村裕憲、櫸原茂之（学 22 期）

前日の新阪急ホテルでの 48 会の翌日 10 月 4 日、北六甲 CC 西コースにおいて恒例のゴルフ 48 会を行いましたところ、いつもより多く 12 名の参加がありました。

優勝は櫸原君、2 位佐野君そして 3 位河村君の順位でした。その他の参加者は村田貞、栗山、森、中尾、今井、木村、大庭、土居そして前川の各君でした。

前日の同窓会ではプライベートでゴルフを楽しむものが結構大勢いることが分かりました。

会に先立ち、この 2 年半の間に残念ながら亡くなられた戸田均、山本康久両君に黙祷をささげ、その後、土居秀策君の乾杯の発声で宴が始まりました。しばらく歓談したあと、テーブル毎に 1、2 人、ショートスピーチで近況報告等をして頂きました。おいしい食事とお酒で、懐かしい話や、今現在の話題で盛り上りました。集合写真を撮って 1 次会を終了し、引き続き 2 次会でもさらに楽しいひと時を過ごすことができました。次回は卒業 45 周年記念会を予定しています。

48 会では優勝者と最下位が次回幹事との会則があり、幹事を敬遠して参加しないことも考えられ、90 回からは常任幹事（佐野、栗山、櫸原、河村）が世話を務めることとしました。安心して一人でも多く気楽に参加をして頂きたく思います。

次回は大庭容子先生のご紹介で平成 28 年 4 月 24 日（日）広島 CC 西条コースを予定しています。前日は前夜祭も用意しています。年明けにご案内をいたしますので、多数のご参加をよろしくお願ひいたします。

クラス会だより

学部26期同期会の報告

文責／行村 純（学26期）

平成 27 年 10 月 31 日 ホテルグランヴィア大阪
にて 2 年ぶりの同期会を開きました。

今回の出席者は 32 名。時間に余裕があった
ので近況報告はたっぷりとしていただきました。



出席者：石丸徹郎、上野良樹、枝重恭一、改井 修、片岡晃哉、北畠義久、木戸友幸、木村道
黒川義澄、斎藤隆晴、篠田恵一、島田 徹、巽 孝彦、築山順一、中島正之、西 律、西田進一郎
西村 光ご夫妻、長谷川真知子、畠田率達ご夫妻、濱畑哲造、深水陽子、松本延男、松本恒司
水谷 均、水野雅夫、宮地芳樹、三好康敬、矢田守男、山本祐三、弓場通正、行村 純

編集部より

会費納入のお願い

年会費

平成 27 年度 10,000 円

平成 26 年度 10,000 円

平成 25 年度 10,000 円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療
で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支
部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●47卷2号（平成28年3月1日発行）

締切 平成28年1月末日

●47卷3号（平成28年5月1日発行）

締切 平成28年3月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail : jimu@jinsenkai.net FAX : 072-682-6636

クラス会だより

三節会（学30期同窓会）のご報告

文責／福田泰樹（学30期）

去る平成 27 年 10 月 18 日、午後 0 時 30 分より
ホテルグランヴィア大阪 凤凰の間において
還暦を迎えた学 30 期同窓会「三節会」が開催
されました。会に先立って三節会の世話を一手
に引き受けてくれていた故山田恭造先生を偲ん
だ後、献花に埋もれて微笑む彼の写真を囲んで
終始和やかな会となりました。

三節会会員 116 名（物故者 8 名を含む）のうち、
84 名の連絡先を確認することが出来、46 名の同
窓が会場に集まりました。今回は故山田恭造先生
を偲んで卒業 30 年目にも関わらず多くの同
窓が、遠路はるばる集まりました。三々五々集
まる同窓の中には当時の面影が全く残っていない
人もいましたが、髪の色や量はともかくその
風貌から若き日の姿を思い起こすことが出来る
人が大半で、話を始めてみればそれは紛れもなく
30 年前の声そのものでした。女子テーブル
を中心に配置された各テーブルに、それぞれ気

の置けない仲間達と座り、好きなことの言いたい放題で歓談が続きました。

歓談の途中、本学放射線科教授鳴海善文先生
から、未来に向かう大阪医科大学の姿について
の報告がありました。故山田恭造先生に任せつけ
り何の体裁も無かった三節会ですが、今後
を踏まえて会長や幹事などからなる事務局の選
出、さらにはマーリングリストによる緊急の連
絡網の構築などが提案されました。また、既に
物故者が 8 名となった三節会ですが、還暦を迎
え今後の慶弔費（というより弔費？）が大幅に
伸びる（いくら医者の同窓会とは言え、これば
かりはどうしようもありません）ことに備える
べく会費を集めることも含めて、満場一致で承
認されました。

尽きることの無い話題に久しぶりに旧交を温
めた時間はあつという間に過ぎ、午後 3 時、2
年後に次回同窓会を催すことを約束して散会と
なりました。

最後になりますが、今回の同窓会開催に向け
てご尽力頂いた鳴海善文先生、玉井るか先生、
山田全啓先生に心からお礼申し上げます。



仁泉ひろば

jinsen-park

大阪医大ギター・マンドリンクラブ OB会開催さる

文責／富岡 瞳（学22期）

大阪医大ギター・マンドリンクラブは、戦前から「大阪高等医専マンドリンクラブ」として存在し、最大部員60名を擁する大きなクラブだったようです。しかし第二次世界大戦により、やむなく廃部の運命を辿ったと思われます。私は学生時代に旧部員の高医16期～18期位の先輩たちといっしょに、大阪府の医師会コンサートに出演したことがあります、旧ギター・マンドリンクラブのお話も聞いていたとは思います、残念ながら今では記憶にありません。現代のギター・マンドリンクラブは、1966年（昭和41年）4月に学20期の尾崎信之先生と木野昌也先生らが中心となって、同好会として再結成されました。そして、間もなくクラブに昇格し、1970年（昭和45年）6月には復活第1回定期演奏会を、大阪朝日生命ホールにて開催するに到りました。その後単科大学である故の慢性部員不足に悩まされながらも、本学OB達や他大学の支援を受けながら、定期活動を続けました。そして第10回定期演奏会頃からは、大阪市大出身の糸井謙三さんを技術顧問に迎え、技量的にもずいぶん向上しました。そして定期演奏会は第28回（1997年、平成9年）まで続きました。その後も部員の減少が続き、平成9年を最後に定期演奏会は開催出来ませんでした。そして平成12年3月に最後の部員が卒業すると、残念ながら廃部となってしまいました。その後にOB会を結成し、主に女性陣の努力により平成15年5月31日に、京都市の菊水に於いて、第1回OB会が開催さ

れました。

この日は元部長の武内敦郎名誉教授や佐々木進次郎教授も交えて、和やかなひと時を過ごしました。その後も大阪市や高槻市でOB会が開催されましたが、今年は10月31日に京都の東華菜館で第5回のOB会が開催されました。始めに平成25年9月に亡くなられた元部長の武内敦郎名誉教授ら4名の会員に対し黙祷を捧げました。そして今回は特に21期の青山（根來）文代先生と同じく21期の松浦尊磨先生が初めて参加され、超久々の再会を喜び合いました。美味しい中華料理をいただきながら、各自の近況を語り合い、楽しいひと時を過ごしました。そして現OB会長の31期の岡部みどり先生に替わり、新会長に32期の中山明子先生を選び、3年後の再会を期して8時半過ぎに散会となりました。このOB会は今後も女性パワーに依るところが大きいと思われ、男性としては、ただただ感謝です。

参加者

広田勝彦（学18期）尾崎信之（学20期）
木野昌也（学20期）田伏俊作（学20期）
青山（根來）文代（学21期）
松浦尊磨（学21期）富岡瞳（学22期）
岡田茂樹（学24期）福田春樹（学25期）
岡部みどり（学31期）岸本かおる（学31期）
中山明子（学32期）中野久美子（学34期）
谷口万紀子（学39期）辻本達寛（学42期）
新庄浩明（学43期）新庄美紀（学45期）

尚、この寄稿に際しては、当OB会長老の広田勝彦先生の宇治市広田医院HPのリンクを参照させて頂きました。ここに謝意を表します。



2015.10.31



仁泉ひろば

jinsen-park

平田先生退任祝賀会

文責／中川義仁（藤田保健衛生大学消化管内科学 43期）

藤田保健衛生大学医学部消化管内科教授の平田一郎先生（大阪医科大学・学部 24期卒）が 2015 年 3 月 31 日をもって無事に定年退官されました。御退任記念祝賀会が 6 月 27 日（土）に名古屋東急ホテルにて開催されましたので御報告いたします。

本来であれば退任記念祝賀会は 4-5 月中に行われるのですが、平田先生が第 89 回日本消化器病学会総会（2015 年 5 月 29 日～31 日）の会長をなされていたことから 6 月 27 日の開催となりました。当日は藤田保健衛生大学消化器内科の同門会である温故会の医師を中心に 54 名



中野先生から平田先生への御挨拶です

の出席者に御臨席いただきました。

平田先生の前任の教授である中野浩名誉教授、肝胆脾内科の吉岡健太郎教授、現消化管内科の大宮直木教授の御祝辞ののち、温故会会长の今井文博先生の御発声で乾杯となりました。終始和やかな雰囲気でした。消化管内科臨床教授の柴田知行先生と医局員の中野尚子先生、医局秘書から花束と記念品の贈呈がなされ、平田先生からの御挨拶でお開きとなりました。会の終了後は出口で平田先生の胸上げもありました。

退任記念祝賀会を無事に終えて、平田先生は教室員から本当に愛されていたのだなあとしみじみ思いました。また、平田先生が 2 名の教授（大宮先生と柴田先生）を育ててくださったおかげで、現在も藤田保健衛生大学消化管内科が一体感を持って混乱すること無く仕事が出来ております。感謝しております。



平田先生の御挨拶です

第 6 回 大阪医科大学卒業生 同好会ゴルフ報告

文責／田中陽（学 11 期）

前日までの雨で、コースはウエット気味、バンカーは 80% 池のような状態でしたが、午後には日光も顔を出し、雨には合わせずに無事終わりました。

当日朝、大阪市内は小雨でやる気をなくされたのか、2 名の先生が欠席され、2 名、3 名の二組でさみしく始めました。

ゴールドティ使用（約 6000Y）。シングルプ

レイヤーでありながら、ダブルペリア用に上手く叩かれた中埜先生が 2 回目の優勝をされました。

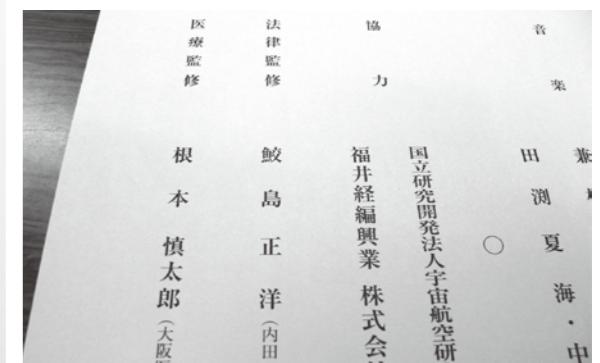
成績		HDCP	NET
優勝	中埜 肇	学 13	21.3 71.4
2 位	山本勝彦	学 13	9.6 72.4
3 位	田中 阳	学 11	15.6 75.4
B B	藤原弘久	学 13	31.2 79.8
5 位	福森英雄	学 11	30.0 83.0

仁泉ひろば

特別編

jinsen-park

母校の胸部外科学教室の専門教授・根本慎太郎先生がヒット中のドラマ「下町ロケット」で医療監修を担当！



TBS 系列で毎週日曜の夜 9 時から放映中の人気ドラマ「下町ロケット」。取材時は「ガウディ編」が放映されており、主人公の佃（阿部 寛）が社長を務める町工場「佃製作所」が、小児用の人工弁を有する「ガウディ」の開発を、周囲のあらゆる困難をはねのけ、成功に至らしめる、というストーリーでした。

かなり高精度の技術をドラマに反映させるため、原作者の池井戸潤氏より白羽の矢を立てられたのが、母校の胸部外科学教室の根本専門教授です。ちょうど 1 年ほど前、母校と福井経緯興業株式会社、帝人株式会社の共同事業として「自己組織に置換され、伸長する心臓修復パッチの開発」が行われることがリリースされたことは、ご存知の先生方も多いと思われます。このプロジェクトの中心的存在でおられる根本先生に対し、池井戸氏がアプローチ。十分な聞き取りをされた後、一度手術現場をご覧になり、あっという間に今回のストーリーが完成したそうです。

「1%でも可能性があるのならひとつのエンターテイメントとして完成にご協力願いたい」という池井戸氏の思いに、根本先生は書き上げられた 800 枚ほどの原稿をくまなくチェック。より現実に近いものを作り上げるために体裁を整えたそうです。その後も度々撮影に立ち会い、現場となる手術室のセッティングや、（外科医師役としての）演技のチェック、時には人工弁を操作したり縫合など専門的な動きが入る際には「手タレ」としても活躍されました。

前述の心臓修復パッチの研究は PMDA の第一回目の面談も終わり、本年早々には二回目の面談が控えています。「2021 年には製品化して稼働させていきたいですね」とおっしゃる根本先生は、下町ロケットへの監修協力をしたことで、自らの強い意志も奮い立たせた。そんな雰囲気も身にまとめておられるようでした。

本号が発行するころには残念ながら放映は終了しておりますが、書籍や DVD などでぜひご覧になってみてください。

祝・教授ご就任！園村哲郎先生（学35期）



和歌山県支部・湯川裕史先生（学29期）よりご報告いただきました。同窓生の慶事でありますので、ご紹介させていただきます。

ご挨拶

平成27年11月に和歌山県立医科大学医学部放射線医学講座の教授に就任いたしました。私は和歌山市出身で、昭和61年に大阪医科大学を卒業しました。大学時代にはゴルフ部に所属し、先輩方には大変お世話になりました。ありがとうございました。私の専門は画像診断と画像下治療(IVR)で、放射線科専門医、IVR専門医、マンモグラフィ読影認定医の資格を持っています。

東京都立駒込病院では、画像診断の基礎を学びました。岸和田徳洲会病院では、救急疾患に対する画像診断やIVR治療に積極的に取り組み、多くの症例を経験しました。平成21年に和歌山県立医科大学に戻ってからは、冠動脈CT、乳癌の画像診断、肝細胞癌に対する肝動脈塞栓術、先天性心疾患を持つ小児のコイル塞栓術などに力を入れてきました。

私は公平で活気のある医局を作り、医局員、放射線技師、看護師と力を合わせて、質の高い放射線診療を提供したいと思っています。

【ご経歴】

昭和61年 大阪医科大学医学部卒業
和歌山県立医科大学附属病院 研修医
昭和63年 和歌山県立医科大学 大学院(内科系)
平成4年 東京都立駒込病院放射線科
平成6年 和歌山県立医科大学放射線医学講座 助手
平成8年 米国スタンフォード大学医学部留学
平成9年 岸和田徳洲会病院放射線科 部長
和歌山県立医科大学 非常勤講師
平成21年 和歌山県立医科大学放射線医学講座 准教授
平成27年 和歌山県立医科大学放射線医学講座 教授

全国各地で教授ご就任などの朗報がございましたらご連絡ください。本誌にて広くご紹介させていただきます

平成28年度学14期(36会)同窓会のお知らせ

卒後50周年記念のクラス会が5月16日、17日にかけて28名の参加のもと京都で盛大に開催されました。来年(平成28年度)は、有澤基先生、吉田繁一先生、福永晶先生の幹事で兵庫県で開催されることになり、早速幹事の有澤先生の計らいで、下記のように決まりました。風光明媚な素晴らしい眺望を生かしたシーサイドリゾートで寛いでいただきたく、36会の皆様方には万障繰り合わせて出席していただきますよう予定しておいて下さい。

記

日時：平成28年5月14日(土) 15日(日)
場所：海と風と緑に包まれるシーサイドリゾートホテル
「舞子ビラ神戸」
15日(日)：観光組／舟を利用した明石海峡クルーズ
ゴルフ組／歴史と伝統がある垂水ゴルフ倶楽部

まんが

古い歌

ほん太よしのり(学31期)

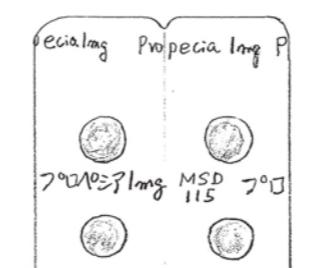
きめた
きめた
お前とみちづれに

ドアを開け
君が来る
気がするよ

こんにちは
こんにちは
西の国から

みちづれ

牧村三枝子



学生街の喫茶店

ガロ



世界の国から こんにちは

三波春夫



残り火は赤く
燃えてた
リーフ リーフ

権兵衛さんの赤ちゃんか
風邪ひいた
権兵衛さんの赤ちゃんか風邪ひいた
権兵衛さんの赤ちゃんか風邪ひいた
それであわてて
湿布した

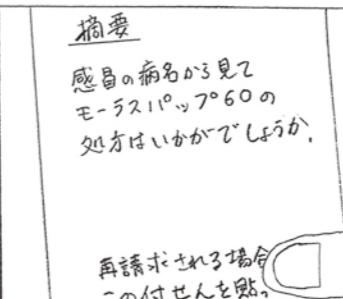
高原のお嬢さん

舟木一夫



権兵衛さんの赤ちゃん

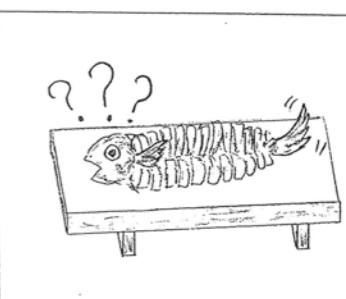
誰でも歌う



おしゃれて
ここは何処?
私、生きてるの?

天国のキッス

松田聖子



リレーエッセイ

よろず町医者「看取り」を考える
本出 肇（学34期）

9時、診療開始の朝1番に警察より電話がかかる。ふつう警察からの電話は一生に一度出くわすかどうかだが、大阪医大を昭和60年卒業し父の死を契機に診療所を継いで20年よろず町医者を自任する者にとっては、季節の厳しい盆過ぎか、年末年始に起ころ、数年に1度の出来事である。それでも取り次ぐ受付嬢の緊張した声色を聞くと、喉の奥に違和感を感じつつ受話器を取るのだが。

「本出先生でしょうか、そちらに●●様という方が診察に来られておられませんか」
「個人情報に関することはお答えできませんが」
「実を言いますと●●様が自宅で死亡されて…」

警察官と事務的なやり取りを交わす間、患者の記憶がよみがえってくる。風呂桶で発見されたそうだ。生前「先生、私は旦那さんに先立たれ、一昨年一人娘を病気で亡くし、できることならばっかり死にたいわ。先生、癌になったらはっきり言うてや」引きこもりがちなアパート独居の高齢女性、隣に住む同じく独居の女友達と連れ立って月1回の買い物ついでの外来通院を見守ってきたのだが。

10時過ぎになりその隣人が外来に訪れ状況を説明する。「部屋にいるはずなのに全然返事がないから、ドアを開けてもらって見つけたん。●●さん風呂桶から引きずり出すの大変やった。前の日二人でマッサージを行ったんよ。そのあと家に帰って、お風呂で眠ってもんかな～。お風呂に入りながら死ねたら極楽かな～」

人の死に方は、本当にわからないものである。100を超える人の死と接してきたが、誰一人として上手に死なせてあげられたという実感がない。癌で苦痛と不安の中で亡くなった人、老衰で消え入るように亡くなった人、家族に手を握られながら最期を迎えた人、やっと探し当てた家族から、もう関係ないか

らと早々に電話を切られ一人さびしく息を引き取つた人、どんな死も私の魂と共に鳴し、記憶の中に余韻を残す。人の生き方が全て違うように、死に方に定型なるものは何一つとしてない。

医療が人の病を対象とし、治癒を目標とするにもかかわらず、人には必ず死が訪れる。最良の医療を提供しても、病状悪化を食い止めることができず、終末期といわれる状態の人と対峙するとき、患者本人の絶望感を受け止めるとともに、私は己の限界と常に向き合うこととなる。

最近、自宅で死を迎える、在宅での看取りという見出しをよく新聞で見かけるようになった。団塊の世代が後期高齢者に達する「2025年問題」に際し、このままでは医療費の高騰のため国の財政が成り立たないとのことである。

平成26年6月25日「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」と、もっともらしい御託を並べた法律が公布された。

病院入院期間を制限するが、しかし退院後の受け入れ先の老人施設の整備については限度がある。やむを得ず在宅での死亡について国民の理解を深めることが謳われた。地域包括ケアシステムが提示され、かかりつけ医にとって重要かつ積極的に参加すべき項目は、地域ケア会議、医療介護連携（他職種連携）、認知症対策、在宅医療（看取り）であるという。在宅での医療は看取りを含め、自助、共助を前面に出し、行政が行う公助は必要最小限にとどめたいのだろう。

地域医療に携わって、死に直面するたび、本人家族との意志疎通にどれだけ心を碎いてもどうしてもやり残したことがないかと自問自答を繰り返す。たとえ、国の方針で、終末期医療の法制化ができたとしても、定型的に死に接することができないよう、医療者の看取りに際する心構えに変化がないことを祈る。

前回の片岡先生（学26期）より引継ぎエッセイを書きました。学生時代は、片岡先生に怒鳴られながらラグビーボールを追いかけていました。次号のリレーエッセイの執筆者を森川先生（学36期）にお願いしております。森川先生は、大阪医大若手開業医の会（若竹会）を立ち上げていただいた私の尊敬する先生です。

エッセイ

ピッタシな話（3）

西村 保（学4期）



頼山陽は江戸後期の儒学者である。名は襄（のぼる）通称九太郎。別号三十六峰外史。大阪で生まれたが父春水と共に広島に移った。後に江戸に出て尾藤二州に師事した。その後京都に書斎「山紫水明廬」を営み、多くの文人墨客と交わった。史学に造詣が深く「日本外史」「日本政記」などの史書を執筆した。特に「日本外史」は源平両氏から徳川氏に至る武家の興亡を各家別に記して名分を明らかにした22巻よりなる大冊であり、幕末の尊王攘夷運動に大きな影響をあたえた。

山陽は又、漢詩も良くした。漢詩とは中国の古典詩で、一句が四言、五言、七言から成り、平仄（ひょうそく）、神韻などの規則があり、古詩、樂府（がふ）、絶句、排律などの種類があるが、我が国では漢詩と云えば殆どが絶句である。絶句は五音または七音を一句としたものが四句で構成されている。山陽の絶句の中では、上杉謙信と武田信玄とが激突した川中島の戦いを詠んだ「鞭聲肅肅夜渡河…」で始まる漢詩が

有名で、現在でも詩吟や剣舞で愛唱されている。

ある日雑談の中で弟子達が山陽に漢詩の作り方を尋ねた時、山陽は「漢詩の作り方の要諦は起承転結である。起とは何について述べるのか、云わば主題についての説明である。承とは、その主題についての説明である。転は主題とは全く異なった事を述べ、その両者をまとめて結とするのである。」と教え即興で漢詩を作った。

京都四條絲屋娘
姉十七妹十五
諸國諸大名殺弓矢
絲屋娘殺目

成程、ピッタシですね。

編集部より

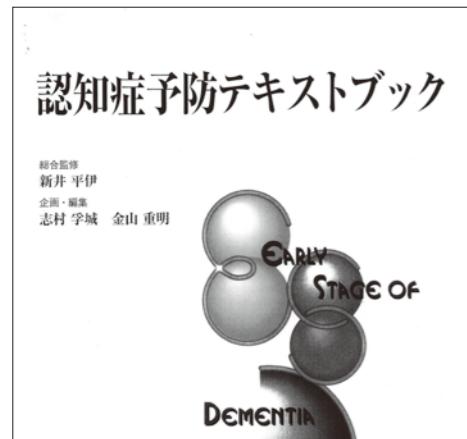
写真募集のお知らせ

誌面を彩るお写真も新たに募集します。季節の風景、お住まいの地域の情緒ある街並みなどをお送りください。なお、掲載時期及び掲載の有無に関してはご一任くださいますようお願い致します。



写真ご投稿 「高槻市民憲章」西村 保先生（学4期）

会員著書



「認知症予防テキストブック」

総合監修／新井平伊
企画・編集／志村孚城、金山重明
発行／日本早期認知症学会



文責／大谷 良
(学40期[平成3年卒])
国立病院機構
京都医療センター
神経内科医長
京都大学臨床神経学講座
臨床准教授
(日本神経学会・日本認知症学会
専門医、評議員)

著者一覧（執筆順）

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 長谷川和夫 | 社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 長 |
| 新井 平伊 | 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学 教授 |
| 志村 孜城 | 創生 生体医工学研究所 代表 |
| 奥山恵理子 | 浜松人間科学研究所 代表取締役 |
| 水上 勝義 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授 |
| 小阪 憲司 | 横浜市立大学名誉教授 |
| 富本 秀和 | 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学 教授 |
| 大谷 良 | 国立病院機構 京都医療センター神経内科 医長 |
| 池田 学 | 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 教授 |
| 川原 一洋 | 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 |
| 鈴木みづえ | 浜松医科大学看護学科 教授 |
| 井関 栄三 | 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター精神医学 教授 |
| 笠貫 浩史 | 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター精神医学 准教授 |
| 新井 弘之 | 元医療法人泰庸会 新潟脳外科病院 院長 脳神経外科 |
| 渡辺 正代 | 医療法人泰庸会 新潟脳外科病院リハビリテーション科言語聴覚療法室 室長 |
| 酒谷 薫 | 日本大学 教授 工学部次世代工学技術研究センター長 |
| 武者 利光 | 株式会社 脳機能研究所代表取締役会長 株式会社 ゆらぎ研究所代表取締役社長 |
| 石井 賢二 | 東京都健康長寿医療センター研究所神経画像研究チーム 研究部長 |
| 岡本 良夫 | 千葉工業大学 |
| 小林 洋平 | 株式会社 脳機能研究所 |
| 金山 重明 | 社会医療法人 博進会南部病院脳神経外科 院長 |

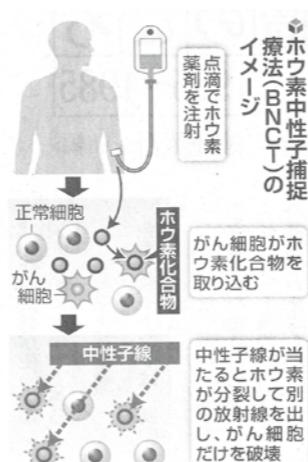
大阪医科大学仁泉会会員の皆様へ。
仁泉会会員の方々に於かれましては、益々、御健
勝のことと御慶び申し上げます。

さて、我が国において人口の高齢化とともに認知症患者は460万人突破と爆発的に増加しており、軽度認知障害状態の400万人を合わせると、900万人近くとなり、今後の解決すべき最重要課題の1つといえます。行政の観点でも、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）が取りまとめられ、新たな戦略の策定に当たり、早期診断・早期対応とともに、医療・介護サービスが有機的に連携し、認知症の容態に応じて切れ目なく提供できる循環型システムの構築などが提唱されました。

今回、長谷川先生を中心に、著者一覧に掲載した医療、看護、介護、そして生体医工学と幅広い領域の、認知症に関わる専門家が選任され、認知症の予防、早期介入に力点をおいたテキストブックが出版されました。光栄なことに、私は、「第2章 各論 .3 血管性認知症」の執筆をさせていただきました。

認知症の医療、看護、介護に関わる全ての方々に、少しでも、このテキストブックが御役にたつことができ、ひいては認知症を有する方、ご家族に反映されることを願っております。

新 聞 切 拔



がん狙い撃ち放射線

がん細胞だけを狙い撃ちする放射線治療「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)※」を、顔や首にできる「頭頸部がん」の末期患者37人に行ったところ、半数以上でがんを消すことに成功したとの臨床研究結果を、大阪大や京都大などのチームがまとめた。29日から京都市で始まる日本癌治療学会で発表する。△解説(9面)

阪大・京大など臨床研究

BNCTは、がん細胞に取り込まれやすいホウ素化合物を点滴し、弱い中性子線を1時間ほど照射する。

中性子線を吸収したホウ素は核分裂して別の放射線を出し、がん細胞を内側から破壊する。ホウ素から出る放射線は細胞1個分ほどの範囲しか届かないため正常な細胞を傷つけず、副作用が小さいとされる。

弱い中性子線は体表の近くまでしか届かないため、チームは舌や顎、耳の下などにできる頭頸部がんを対象として、2001年から、京大原子炉実験所（大阪府

BNCTは、がん細胞に取り込まれやすいホウ素化合物を点滴し、弱い中性子線を1時間ほど照射する。

中性子線を吸収したホウ素は核分裂して別の放射線を出し、がん細胞を内側から破壊する。ホウ素から出る放射線は細胞1個分ほどの範囲しか届かないため正常な細胞を傷つけず、副作用が小さいとされる。

弱い中性子線は体表の近くまでしか届かないため、チームは舌や顎、耳の下などにできる頭頸部がんを対象として、2001年から、京大原子炉実験所（大阪府

*B2O5=Boron Neutron Capture Therapy

博愛茨木病院
北 陸平さん—茨木市

高す層年か増

食事、運動、薬で予防

★★★平成27年10月28日付けの讀賣新聞夕刊にBNCTの記事が掲載されました。★★★

★★★2015年11月10日(火)付毎日新聞に
北陸平先生(学16期)の記事が
掲載されました。★★★

新聞切抜

平成27年8月21日金曜日付／神戸新聞

★★★神戸新聞に掲載されました

松浦尊磨先生（学21期）と
鈴木富雄先生（母校総合診療科特任教授）

の記事をご紹介いたします。

両先生とも、地方医療へ多大な貢献、
啓蒙をされています。

福本謙一先生（学23期）より★★★

姫路 播磨の医師に 地域医療学ぶ

「地域医療」をテーマに、地元の医療体制の充実につなげようと同マにした医学生向けのセミナーが20日、姫路市内で始まった。県内市内でも始めた。県内の大学を中心に17人の医学生が参加。播磨の現役医師から、医療現場の実態や課題などについて講義を受けた。姫路市では2年前から、医学生に地域医療に関心を持つてもらっている。

初日は市保健所（同市坂田町）で、多可赤十字病院（多可町）で、多可赤



医学生を対象に開かれた地域医療のセミナー＝姫路市保健所

1980年代から、五色町（現洲本市）で医療と介護の連携体制をつくり上げた経験を語り、「医療の敷居が高いと、介護部門や地域との連携は難しい」と指摘。「地域医療は人間を総合的に支える視点が重要」と語った。姫路市医師会の辰巳和宏医師も「広域中核都市姫路の在宅医療」を題材に話した。

21日は、家島や赤穂などの病院に分かれ実習を行う予定。（山崎史記子）

高齢化が進む地域の医療体制について考える「地域医療講演会」が28日、宍粟市山崎町で開かれた。NHKの番組「総合診療医ドクターG」などに出演する大阪医科大学附属病院総合診療科長の鈴木富雄さん（54）が講演し、約200人が耳を傾けた。宍粟市民でつくる「しそうの地域医療をさぼーとする会」と同市が主催した。鈴木さんは、診療科目の枠を超えて一人の

人が抱えるさまざま病気に対応できる「総合診療医」の必要性を強調。役割については「患者その人の専門家となること」などを説明し、大学病院など特に力を發揮するとしている。大阪都市病院などがない地方都市で

また、全国の自治体が住み慣れた地域で高齢者が医療、介護、生活支援などを受けられる「地域包括ケアシステム」を構築しようと取り組んでいる現状も紹介。その上で、課題も指摘。「地域特性に応じ、地域で考える必要がある。高齢者自身やグループで、健康管理や予防を行うことが重要」などと語った。

平成27年11月29日日曜日付／神戸新聞

また、全国の自治体が住み慣れた地域で高齢者が医療、介護、生活支援などを受けられる「地域包括ケアシステム」を構築しようとする必要がある。高齢者自身やグループで、健康管理や予防を行うことが重要」などと語った。

(千葉川淳也)

都市部に比べて医師の数がないべき地・中山間地域で、高齢者が住み慣れた我が家に安心して暮らし続けるためには、さまざまな疾患に対応できる総合診療医を中心、医療・介護の専門職が連携してきめ細かく対応する地域包括ケアの態勢整備が不可欠だ。1980年代から旧五色町（現洲本市）で包括ケアに取り組み、現在も多可町でシステムの整備を進める松浦尊磨・多可赤十字病院長（69）によると、現状と課題を聞いた。

「在宅ケアのあり方は、人間の苦しみを支えるのがケアであり、医療もその一つだ。病気を治すだけではなく、合併する病気もあるし、介護も必要になるし、家族構成などの生活問題も関わってくる。



多可赤十字病院
(兵庫県多可町)

松浦尊磨院長に聞く

ケアする側は分野を超えて連携しなければ対応できない」と多可町での取り組みは。

「総合診療科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センター、地域医

「ケアとは、限りある命を全うできるよう支援する全ての取り組みだ」と話す松浦尊磨・多可赤十字病院長＝多可町中区

松浦尊磨院長（69）によると、

「地域医療支援センター」を院内に設置した。

医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、社会福祉士などの専門職が常に情報共有し、個々の患者のケアを考え、実践している」

「包括ケアの仕組みは多くの地域で立ち上がりつつある」

「国も力を入れているが、仕組みを本当に機能させられるかは、現場でケアをする人がいかに実質的に連携できるかにかかる」

が会議を開くだけでは連携は進まない。ケアを担う人同士が

療連携課による「地域医療支援センター」を院内に設置した。

医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、社会福祉士などの専門職が常に情報共有し、個々の患者のケアを考え、実践している」

「在宅医療を押し付けるべきではない。患者や家族は在宅か病院か、常に迷いながら治療に臨んでいる。その迷いに常に対応できる態勢が望ましい。家庭での介護力は高いとは言えない現状で、時には患者さんを介護施設で預かり、家族が銳意を養うことで、人間的な共感を持つれるかが最も重要なことです」

「在宅医療の現実は、

「在宅医療を押し付けるべきではない。患者や家族は在宅か病院か、常に迷いながら治療に臨んでいる。その迷いに常に対応できる態勢が望ましい。家庭での介護力は高いとは言えない現状で、時には患者さんを介護施設で預かり、家族が銳意を養うことで、人間的な共感を持つれるかが最も重要なことです」

NHK出演 医師鈴木さん講演

宍粟



地方都市に総合医を

宍粟

平成27年11月21日土曜日付／神戸新聞

分野を超えて専門職連携 「人間的な共感」が重要

ひょうべいの医療

在宅医療のいま

募集します

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。（自薦・他薦は問いません）

本部だより セミナー報告

12月3日、5日に仁泉会において初めての試みとして会員先生向けに谷丸会計事務所の谷丸幸子氏をお迎えしセミナーを開催いたしました。

ご多忙の中ご出席いただきありがとうございました。

セミナーは、「知っておきたいマイナンバー制度と相続税・贈与税の基礎知識」と話題性の富んだ内容でお話いただきました。

セミナーの内容を少しご紹介させていただきますと現在の番号法で規定されている使用目的は、社会保険関係・税金関係・災害関係のこの3つの目的に限定されており、この使用以外で番号の提供を求めることが提示することは、禁止されていること。2015年9月3日に法改正があり2018年に



1-6 今後の動向

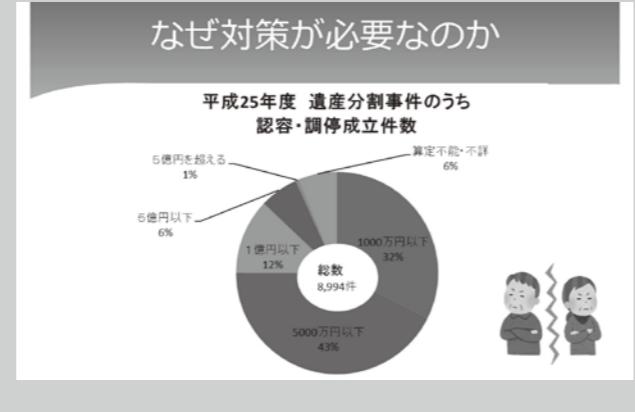
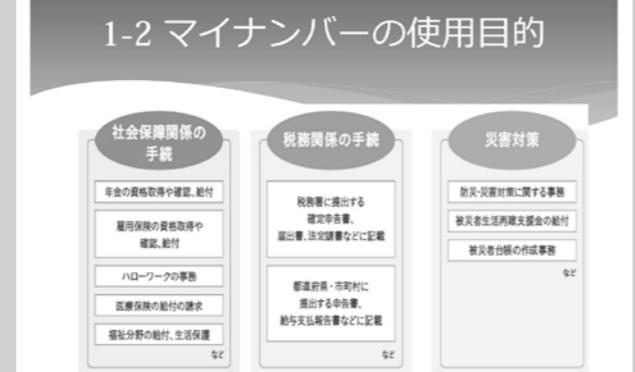
- * 預貯金口座へのマイナンバーの付番（2018年）
- * 医療等分野における利用範囲の拡充等
- * 地方公共団体の要望を踏まえた利用範囲の拡充等
- * 証券分野での利用範囲の拡充等

は、預貯金口座へのマイナンバーの付番が開始される為、金融資産を利用している相続税対策については、2018年までに見直す必要があることをお話されてされました。また2015年1月より相続税法の改正があり相続税の基礎控除額が4割減となつたと話されておりました。改正により税務申告の申告件数が死亡者のうち4%（全国平均）だったのが8%から10%にまで上昇するだろうと話されておりました。

北摂地域では全国平均より高い10%～15%ぐらいまで件数が増えるとの事でした。

マイナンバー制度は、まだ開始していない制度ですのでさまざまな実務的な取り扱いについては、今後仁泉会のホームページ等を通じて先生方に発信していきたいと話されておられました。

今後も仁泉会では、会員先生向けの情報を発信していきたいと思っております。



編集部より

編集後記

明けましておめでとうございます。同窓の皆様にはどのような新年をお迎えになったでしょうか。今月号は、諸先生方からの新年挨拶に加え、いつになく支部、同期会などの投稿記事も多く、盛りだくさんの内容になりました。

その中に、母校創建当時の建設にも携わったW・M・ウォーリズ氏が手掛けた大同生命本社ビルの記事も掲載いたしました。同社はNHKの朝ドラで有名になった広岡浅子さんが創業されたものです。女性の社会進出など考えられなかった当時、組織のトップに立って事業を展開されるには一方ならない

仁泉会事務局メールアドレスについて

この度、事務局のネットワーク整備に伴い、2つあったメールアドレスの内、jinsenkai@etude.ocn.ne.jpは平成27年11月末日をもって廃止となりました。今後はjimu@jinsenkai.netのみとなりますのでよろしくお願い致します。

廃止：jinsenkai@etude.ocn.ne.jp

現行：jimu@jinsenkai.net



地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの
医療印刷

ハードルをジャンプ!!

タツミ印刷株式会社
お気軽にご相談下さい。
池田・高槻
tel: 072-761-8434

努力が必要であったでしょう。現在はどうでしょうか。政府は女性の社会での活躍をより一層図る方針です。女性にもっと働き。しかし少子化対策で子ども生んでくださいと、無茶ともいえる要求をしています。医学部でも新卒の半数が女性です。診療科によって差はありますが、女性の場合どうしても自身の出産、育児で第一線を離れるを得ないことがあります。さまざまな方策が検討されていますが、これという有効な打開策はないようです。今後はイケメンに期待しなければならないのでしょうか。ところで女性医師の配偶者は男性医師が多く、同窓にもおられるでしょう。諸兄はしっかり奥様をサポートしていますか？

本年も仁泉会ニュースを愛読くださいますようお願い申し上げます。
(治)

“大阪医科大学関係者の皆様”へ FELICE で 理想の結婚

フェリーチェは、メイカル人材企業との提携を通じて、
医療の第一線でご活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、
理想の結婚をプロデュースすることを目的として
創設された会員制クラブです。
万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター
だからできる「洗練された出逢い」をあなたに。

<成婚事例>

男性

女性

33歳 大阪医科大学	医師	27歳 神戸薬科大学	薬剤師
31歳 大阪市立大学	医師	28歳 京都府立医科大学	医師
34歳 慶應義塾大学	医師	26歳 神戸学院大学	英語教師
36歳 神戸大学	医師	33歳 関西医科大学	医師
38歳 京都府立医科大学	医師	29歳 近畿大学	会社員
37歳 愛知医科大学	医師	31歳 同志社大学	客室乗務員
41歳 関西医科大学	医師	33歳 京都女子短期大学	会社員
38歳 大阪大学	医師	32歳 兵庫医科大学	医師
37歳 近畿大学	医師	29歳 大阪医科大学	医師

大阪医科大学関係者様 限定キャンペー

詳しくはお問合せください。



詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

0120-683-156 www.felice.cc

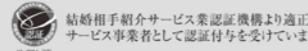
受付時間 / 10:00~20:00 水曜定休日

フェリーチェはおかげさまで **創立13周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「会員内容の的確さ」「スタッフのサポート体制」など11項目からなる「顧客満足度の高い会社」**2年連続 総合1位** (オリコン株式会社調べ)との評価をいただきました。

今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

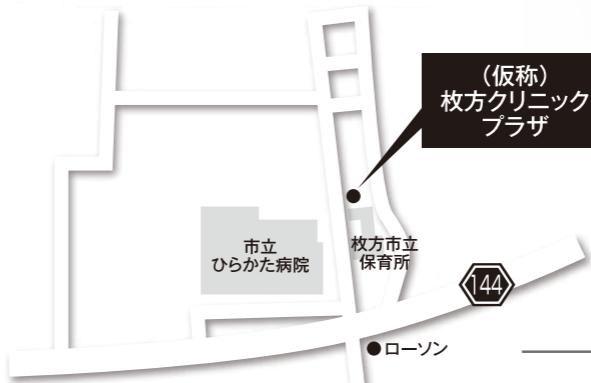
無料 親御様向け説明会のご案内

毎月1500件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライムマリッジ株式会社
www.prime-marriage.com個人情報管理・プライバシー保護には
細心の注意を払っています。銀座ラウンジ 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F 横浜ラウンジ 横浜市西区みなみみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F
芦屋ラウンジ 兵庫県芦屋市平野町6-16 芦屋ファルマーラ4F 梅田ラウンジ 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル10F

新規クリニック 開業物件のご案内

今回ご紹介させていただくクリニックプラザは、
来年春に竣工を予定しております全6区画からなる新規物件です。
市立ひらかた病院に隣接し、2100戸以上のマンションが建ち並ぶ屈指的好立地。
開業をご検討中の先生方に是非ご案内させていただきたい物件です。
私どもは開業医の先生方のベストパートナーを目指すべく、
成功開業を支援させていただいております。
ぜひ一度詳しいご説明をさせていただきたく存じます。



今回お問い合わせいただきました先生には、**無料で
簡易診療圏調査** と **平面プラン**
をご提供させていただきます。

● 簡易診療圏調査・平面プランについて

【診療圏調査】調べて欲しい住所、「診療科」、先生の「お名前」「連絡先」をご連絡下さい。
調査結果のご報告につきましてはご面談による報告となります。

【平面プラン】一級建築士による平面プランをご提案します。

開業医募集要項

場 所 大阪府枚方市中宮北町1丁目
※平成28年1月末竣工予定

ア ク セ ス 京阪本線枚方市駅より徒歩で約20分・バスで約5分

募 集 診 療 科 内科・小児科・眼科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科等

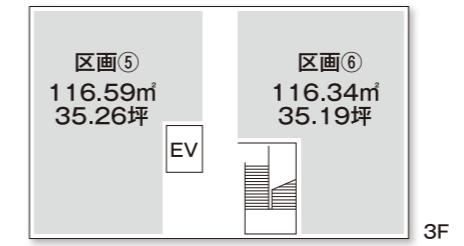
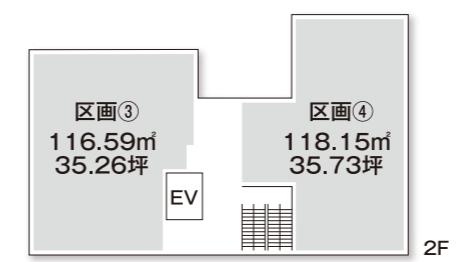
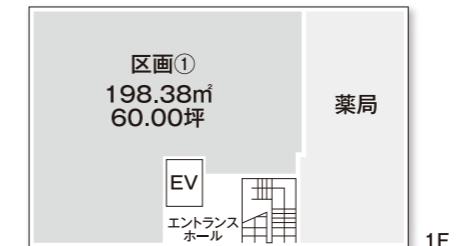
区 画 1F 区画①198.38m²(60.00坪)
2F 区画③116.59m²(35.26坪) 区画④118.15m²(35.73坪)
3F 区画⑤116.59m²(35.26坪) 区画⑥116.34m²(35.19坪)

賃 料 (共益費込) 1F 11,000円/坪(税別)
2F 10,000円/坪(税別)
3F 9,000円/坪(税別)

保 証 金 賃料の6ヶ月分

駐 車 場 有り(共用駐車場7台予定)

備 考 9人乗りエレベーター、大型キューピクル完備



地域の皆様とともに…
株式会社ウインズ 不動産部

● ご連絡先: 06-6282-7280

● E-mail: wins-fudousanbu-info@medical.email.ne.jp

新規
物件